京城日報

四日夕刊

獨逸の陰謀全く失敗

却て日米の親交を增せり

獨逸の陰謀は全然失敗したり一日午前米國を襲ひし暗雲は同日午後には虹の如く消散したり之れ國務長官ランシング氏が日本は獨逸外相の提議に關し何等知る處なしと聲明したると佐藤大使が否認したるとに依る二日午前には米人は異口同音に日本は果して獨逸と同盟して合衆國と戰ふ意志ありやと在米邦人を詰問したるも今回の事件に日本は全然與らざること明瞭となるや米人は日本人に對し以前に倍する友情を示し獨逸の豫期に反し日米の國交が親密なるものあるを示したる爲め此の事件の結果は却て從來日米間に存する誤解を一掃するを得べしと信ずるに至れり(紐育電報)

嫉まれたる米國大使

在獨米大使館員全部引揚げ

西班牙ユルナ來電に依れば伯林駐在米國大使館員一行は愈々米國に向け當港を發せんとす之れより先き米國大使ゼラード氏が獨逸を去るに當り西班牙より危險を冒して出發せざる樣警告を受けたり蓋し獨逸海軍は同大使を嫉み居れるものにして大使が一年半の間獨逸海軍と其の目指す攻擊物との間に介在して自由行動を妨げたりと信じ居ればなり(倫敦電報)

●森安博士今朝北行 森安博士及び夫人は四日朝釜山著直に北行歸京の途に上れり(釜山特電)

南大門停車場の改築案

貨物驛分離は不可

南大門停車場の改築は逐年發展する京城の市勢より見るも又現に狹隘にして▲大陸日本に於ける主都の驛舍として若干不體裁なるに鑑みるも頗る必要に付鐵道局にては夙に該問題に付研究を重ねつゝあるが聞く處によれば目下其の改築案は二樣あり乃ち(一)現在停車場の地域を擴大して建造する事(二)は旅客及び貨物停車場を分離せんとするもの之れなり第一案は現驛舍の構内を山の手の官舍地にまで擴大し旭川の小流は暗渠として數十條の鐵路を敷き旅客乘降の建物は目下の驛舍を中心として築設するものに係り第二案は第一案の計畫が將來大京城の停車場と適應せず又遠からず狹隘を感じ來るに付宜しく旅客驛を現南大門停車場の位置に建築し貨物驛は▲京龍兩地に於ける近接地點に之れを設くべしと云ふにあり其の何れに決定すべきかは全く知り得ざるも洩れ聞く所によれば旅客貨物兩驛の分離は貨客の取扱上若干の便益と整理を圖るに得策なれど京城實業家にとり貨物驛を遠く龍山方面に移さば其の貨物輸送上の不利少なからず加ふるに京城稅關出張所の關係もあり結局現地域を及ぶ限り擴大し之れに適當の驛舍新營を行ふと云ふに一致を見るもの〻如し

朝鮮大阪貿易

移出超過三十萬圓

二月下旬に於ける朝鮮大阪貿易の狀況を聞くに移出百六十八萬七千圓に移入百三十九萬五千圓にて差引二十九萬二千圓の移出超過を示せり而して一月以降の累計は移出一千百十四萬二千圓移入八百五十一萬二千圓に及び其の移出超過は三百六十三萬圓を算したり尚ほ金銀貿易は一月以降累計は移出百五十四萬九千圓移入三萬二千圓にて百五十一萬七千圓の出超を示し居れり

改良鮮米と大阪

東京方面に歡迎さる

內地に於ける鮮米の價値は年と共に加はり其の販路の如きも阪神地方のみならず遠く關東方面に及びつゝあるが內地各地方の狀況に依り鮮米の調製改良に關し區々たる希望を有する由にて當業者も取引上多少煩瑣の感無きに非ざる由例へば大阪に於ては籾摺業及び精米業旺んなるが爲め該地米穀市場に於ては調製改良されたる鮮米及び加工品を喜ばざるが如き傾向あり此れ同地商人は何れも粗惡品を廉價にて取引し加工の上精製米として市場に出すか或は內地籾に混淆して精搗し巧妙に需要者の嗜好に投ずるが如き方法を講ずるが爲めにして此れと反對に東京方面にては精搗工業不振の爲め鮮米の調製品質の改良及び加工品の移入を歡迎し居る者の如し此れ瞭かに東西兩方面の商人氣質を現はしたる者なるが近時鮮內各輸移出港に於ける精搗業殷賑の折柄調製の改良は勿論加工品取引大いに奬勵され居るを以て假令大阪市場の一部に於て前述の如き現象を呈し居ると雖も當業者は米穀檢査制の嚴存せる今日粗惡雜價の米穀を移出するが如き事無かる可しとは信ずれ共近時格落品の移出盛んに行はるゝより察すれば或は大阪市場に於ける影響を蒙りつゝ有るには非ずやとの疑を起さしむる者ありと云々と最近內地よりの歸來客は語れり(仁川)

開鰆米國輸出

結果により最有望

南北兩國米及伊太利方面に於ける開鰆の需要は旺盛を極め居れるが歐洲戰亂の結果從來諾威より米國に供給されつゝありし同品の輸入杜絶し爲めに著しく拂底を來せるより再び農商務省水產局にては此機會を利用し本邦開鰆の輸出を神戶地方の商人に慫慂しつゝあり其の結果神戶海產物貿易商北村安太郞氏は前年來北鮮方面の鰆漁に著目し店員を出張せしめて調査し居たる關係上自ら當方面開鰆に就て調査の爲め過般來北したるが獨津に於て製造せるものを最も優良品と認め試驗的に若干を米國に向け輸出の筈なるが同品にして好評を得るに到らば將來北道產開鰆は更に米國に向て輸出さるゝに至るべく因に現在北道產開鰆は一應內地下關及び神戶に移出され更に同地より南支那地方に輸出さるゝものなるが北海道產品に勝るの聲價あり而して米國に於ける市場は支那地方よりも遙に高價なる模樣なるを以て將來米國と取引さるゝ事とならば價格の關係上盛んに輸出さるゝに至らん尤も米國に從來供給せし諾威品は其の製法現時北鮮地方に於て行はるゝものと稍製造法を異にすれば現在の北鮮開鰆が果して米人の嗜好に適するや否やは不明にして若し適せざるとせば諾威式に製造するの必要あるべしと尙ほ北鮮の鰆漁業は近來益々發展し今や北道沿岸到る所に於て製造されて其產額も增加しつゝあるより世人の注目を惹き內地方々より態々來北して此が漁撈を計畫するものあり東京に本社を有する日本漁業會社の如きも本年より慶興郡大草島鏡城郡漁大津附近に於て大仕掛の鰆漁經營に著手する筈なりと(淸津)

定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金八十五錢 廣告料 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

製肥總會期日

既報の朝鮮製肥工業株式會社の第一回株主總會即ち創立總會は愈々來る十五日午後一時より商業會議所樓上に於て開會すべく確定し二日それぞれ株主一般に通告を發せり(平壤)

遞信收入好況

朝鮮遞信收入の一月中狀況は四十萬九千九百五十圓にして昨年同期に比すれば二萬四千二百圓の增となり切手收入電話收入を主とし總べてに於て良好なるが昨年四月以降の累計は三百廿八萬二千四百八十圓を示し之れを前年に比すれば廿八萬二千七百圓九十六錢三厘の增となり居り一般景氣の恢復に伴ひ好況を呈し居れり

歐行郵便如何

日本より歐洲行きの郵便は西伯利經由を避け今後米國經過となるべしとの東京電報一兩日前の本紙に見ゆしが右に付遞信當局に就て聞く所によれば遞信省より右に關し何等の通達なく又諾威のベルゲンと英國ニューカッスル間の海上聯絡全然杜絶せりとは思はれず從つて朝鮮發西歐行郵便は從來の如く西伯利亞經由線により差立てつゝあり云々と或は獨逸潛航艇の跳梁愈々盛んなる爲め英諾間航海危險の度一層加はり西伯利亞經由より米國經由の方安全なりと云ふ意味にあらずやと云ふ

下關出張所

東拓 移民募集の要務處理

東洋拓殖會社にては新移住規則の實施に伴ひ移民選擇其他各種の事務を便ずる爲め出張所を內地に設け最も移民希望者の多き九州中國四國方面を主管せしむべしとは右出張所に就き聞く所によれば其の設置地並に內地常駐社員等は三日中に發表せらるべし場所は多分交通上便利多き下の關に定め又社員は五六名を定員とし何れも多く內地の巡廻に當らしめ移民希望者の各戶數誘並に證明に任せしむべく尙ほ其の出張所を東洋拓殖會社出張所とするか若くは事業部植民課の出張所とすべきかに就ては目下幹部の間に研究中にて未だ決定を見ずとの事なり

釜山造酒盛況

釜山に於ける本年の造酒界は未曾有の盛況にして昨年に比し淸酒、濁酒は四割、燒酎、味淋は四倍其他混成酒の如きも幾千の增石を爲せり之れが原因は昨年九月酒稅則改正以前は內地造酒を釜山に輸入せば戾り稅を得るを以て劣等酒の夥しく輸入されたりしに同稅則發布後は之等の輸入酒も朝鮮に於ける酒稅と同額の一石五圓の稅金を賦課せらるゝ結果不引合となり之れが減少を補ふ爲め且つ一般市況の景氣に伴ひ造酒石數の增加を見るに至りたるが從來內地酒の釜山に輸入せる數量は毎年六千石內外なりしに稅則發布後は前年の同期に比し非常の減少を示せり茲に本年二月末迄に釜山府廳に提出せし淸酒其他の造石見込申請石數及び製造戶數と昨年の同上とを比較するに(但混成酒は本年より種類を區別す)

種類	昨年造石見込申請	本年造石見込申請	製造者數
淸酒	四、五一五石	七、七〇〇石	二〇
濁酒	二七四	五〇〇	二三
燒酒	五九	二六一	一四
味淋	四六	一五二	七
白酒	五	五	二
葡萄酒	六四	一三〇	四
ウイスキー		八	一
ブランデー		二	一
人參保命酒		七	一

以上は全部日本人の酒造者にして濁酒、燒酎、味淋、白酒は多く淸酒製造者の兼業にして唯僅かに二戶の濁酒專門の製造者あるのみ造酒稅は昨年九月稅則發布以前は百石に付二十圓なりしに其後は一石に付き五圓を賦課せらるゝ爲め納稅額は昨年の千三百六圓なりしに本年は四萬三千〇八圓の徵稅見込なりと云ふ猶朝鮮人の造石高及び酒造戶數は

種類	昨年石造見込申請	本年石造見込申請	製造戶數
濁酒	三二七六石	四、〇八八石	三九五
燒酎	一一	二六	一七

朝鮮酒も昨年九月酒稅則の發布せられたる爲め從來濁酒に對し百石二十圓なりしに同月後は百石七十圓を賦課せられたる爲め昨年の納稅額七百五十五圓なりしに本年は二千八百六十一圓に增加せり而して日本人の製造酒に對する課稅は淸酒の製造出來每に檢査員を派遣し石數を調べ課稅の徵收を爲すと雖も朝鮮人に對しては每年二月八月の二期に造石數を屆出でしめ課稅を徵收する規定なりと(釜山)

印紙收入好況

朝鮮全道に於ける印紙收入は益々好況にして一月中の收入は二十二萬一千圓を算し四月以降の累計二百廿五萬圓に及び之れを前年同期に比すれば一月に於て三萬六千圓累計に於て六十二萬一千圓の增收なりと

釜山在炭數量

釜山に於ける三月一日現在の石炭及び木炭の在庫數量は石炭總數量三千八百噸にして內塊炭二千三百噸、切込炭八百噸、粉炭九百噸にして時々取引直段は塊炭一噸に付上十三圓並十一圓、切込炭上十一圓並九圓、粉炭上七圓並六圓五十錢の相場にして昨年中の輸入高は八萬五六千噸なり而して木炭は三月一日現在數量二萬三千俵にして內對州產八分を占め一俵上一圓下七十錢、不見產一分二厘にして上一圓十錢下八十錢、地產は密陽、梅川、院洞を主とし京元線より幾分の回送あるも總額にて僅か八厘に過ぎず相場は上九十錢、並六十錢にして一個年に於ける輸入金高は每年二十五六萬圓なるも昨年の冬以來寒氣酷しく需要は未だ減退せざる爲め需要は昨年の當時に比し約倍額の增加をなせし爲め價格は昨年の暴騰を爲し居れるも昨今入荷の增加を見たるを以て漸次下落すべき見込なり(釜山)

安東縣より

▲通化分館開館 安東領事館通化分館主任市川書記生一行五名は二月二十八日無事任地到著即日開館せる旨本館へ報告ありたり▲陸宗輿氏 日本よりの歸途二日午後七時三十分安東驛著古藤署長安東知事高等警察廳長等の出迎へを受け貴賓室に少憩の上同八時十分奉天に向け出發せり▲木材の滯貨 朝鮮鐵道の貨車配給不足勝なる爲め朝鮮各地へ仕向けらる可き木材にして目下當地に停滯せるもの約百貨車に達し今後需要期に入り出荷益々增加するに伴ひ一層の停滯を來す可きに依り安東商業會議所は此程鮮鐵長官宛之に關する陳情書を提出せるが試みに三月以降朝鮮各地へ仕向けらる可き豫想高を示せば三月に於て四百車、四月に於て三百車、五月に於て四百五十車、六月に於て五百車を算し之に要する貨車は一日平均十輛乃至十七輛なりと▲居留民團屠獸場入札 安東居留民團屠獸場新築工事は昨年起工されしも基礎工事は略ぼ竣成せるに依り解氷後直ちに屠場、事務所及び其他附屬家屋の新築に著手する筈にて近日中民團にて指名入札に附する由

平壤

▲平電二月營業成績 平壤電氣會社に於ける二月中の營業成績は電燈實際取付七四一四燈十燭換算八千八十八燈にして動力供給四十二馬力半なるが一月末に比し電燈に於て五百五十燭動力に於て二馬力半の增加を示し四年同期に比し十燭換算一千四百燈の增加を見たるが原因は石油の暴騰に伴ひ一般の需要を喚起したると一面平壤中學校の新築に伴ひ電燈の增點を見たるに依るものなりと▲二月末平壤銀行帳尻 二月末平壤四銀行(鮮銀、漢城、百三十、平安農工銀行)帳尻は平安農工銀行預金一百五萬三千五圓三十六錢貸出一百八十七萬七千四百十六圓六十二錢五厘朝鮮銀行支店預金五十八萬一千五百九十一圓十五錢貸出五十二萬二千十八圓九十二錢漢城銀行支店預金三十四萬五千二百九十二圓九十錢貸出三十九萬二千九百六十八圓五錢百三十銀行支店預金十九萬三千圓九十五錢貸出三十一萬九千六百六十五圓三十錢なりと云ふ因に二月は一般商界は閑散期なるにも關せず諸取引盛に行はれ爲めに資金の如き相當需要を見たり▲平壤鮮人町家暴騰 一昨年より昨年夏季迄は城內鮮人町家の賣買は稀に見る處なりしが歐洲戰亂の餘波を受けて穀價騰貴し繼ぎて牛皮金塊の輸出旺盛となりしのみならず殊に最近製糖セメント製肥製粉等諸工業の勃興に伴ひ一般經濟界は活氣を呈し結果鮮人市場の取引旺盛なり市外の家屋も漸次騰貴し昨五年二月頃百圓位の相場なりし家屋は目下二百二三十圓にて賣買され五六百圓位の家屋は千四五百圓にて賣買されつゝあり隨つて賣手に於ては尙賣惜の狀ありて益々騰貴を見んとする模樣なるが殊に明七年度には南門通りの市區改正あるを見越し資本主は同方面の土地家屋の買占めをなさんとあせり居れり▲營林廠製材の放賣 營林廠新義州製材所に於ては軍用材の準備として無慮四萬五六千尺締の各種木材を貯藏せしが此程に至り軍用材は樹種品位寸法等決定したるを以て殘材は不日之れを開放して一般に販賣し以て林界の窮迫を救濟すと云ふ因に營林廠にては京城三升物產會社及び新義州木材商會を大口取引店と定め凡ての製材は標準價格の二割引にて賣却し居れるを以て廠材の購入は兩會社に於て取引すべし

春川

▲卒業生同窓會 春川公立普通學校に於ては二月十二日午前十一時より同校內に於て卒業生同窓會開催會員七十餘名參集會則一部改正の件會基本金蓄成の件等を議決し吉永會長の告辭古市道學務主任及び金道書記の訓話會員の五分演說並に餘興として會員の各種競技等あり和氣藹然たる裡に午後五時三十分散會したり因に同會の現狀を聞くに會員は男會員二百二十餘名女會員二十餘名にして何れも上級學校に在學又は夫々相當職業に從事せりと▲學藝會並展覽會 春川公立普通學校に於ては二月二十五日午前十時三十分より同校內に於て學藝會並に展覽會開催李道長官宮崎第二部長小學校生徒其他內鮮人官民有志及び同校生徒父兄母姉等七百餘名參會同校生徒及小學校生徒交互に六十餘番の學藝演習あり最後に道長官より參會の生徒父兄及び母姉一同に對し約二時間に亙り諄々として適切なる講話あり午後五時無事閉會したり▲一部長特志 本道武藤第一部長は今回李王職事務官に榮轉せられたるが在職中の記念として當地普通學校並に小學校に金二十五圓宛春川神社に金二十圓を寄贈せり

大田

▲學校組合會議 大田學校組合にては來る七日午前十時より組合會議を開き大正六年度豫算の件組合費附加徵收方法小學校授業料賦課に關する件同校舍增築附帶工事承認に關する件同校敎室貸與に關する件等を協議する筈なり尙同組合會に於ては三日午前十時より組合會を開き皮加工場設置の件に關し協議せり▲生徒成績品 大田小學普通兩校生徒成績品は總督の閱覽に供すべく本道廳に向け發送したり▲穀物總會出席 大田穀物業者にては來る十日仁川に開催さるる全鮮穀物貿易業者大會に當地より二名代表者出席する由▲京中校長 京城中學校長柴崎鐵吉氏は當地中學分校開設に關する用務を帶び來る十四日頃來田する由▲客月檢查叺 大田叺檢查所に於ける客月中檢查叺取扱數八千三百二十枚なりし

群山

▲客月米檢 群山米穀檢查所に於ける一月中米穀檢查成績を聞くに上格米二千四百四十九叺下格米三萬三千三百八十九叺禁止米七百四十九叺にして之が產地別を掲ぐれば全羅北道產上格二千四百四十九叺下格三萬三千九百十三叺禁止七百四十九叺他道產上格無し下格二千四百七十四叺禁止四十九叺等檢查米總數量三萬六千五百八十五叺にして昨年同月の成績と對比するに總數量に於て一萬六千零二十二叺を減じたりと▲金堤出張所取扱 群山米穀檢查所金堤出張所に係る一月中檢米成績を聞くに優等米二十八叺上格米一千八百六叺下格米七千四百四十一叺總數量八千百二十八叺にして昨年同月の檢米數量と對比するに百六十九叺を增せり▲委員會 群山米穀取引所創立事務所にては三日午後三時より同事務所に創立委員會を開き凝議する處ありたり

人事消息

▲矢野久三郎氏(釜山稅關長) 入B中四日歸任
▲森工學博士(滿鐵工場長) 四日午前滿洲より內地へ
▲京城高等普通學校職員生徒一行五十名 四日午前水原へ
▲本田常吉氏(平壤府尹) 四日午前入京京城ホテルへ
▲西田常三郎氏(元山每日新聞社長) 三日午後入京山本旅館へ
▲澤尾直留氏(黃海道一部長) 四日午前赴任
▲長田新村氏(全南光州憲兵隊長) 四日光州へ
▲佐藤豐三氏(平北第二部長) 四日朝入京龍尾旅館へ
▲水谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 同上
▲近藤伊三郎氏(關東都督府技師) 四日朝仁川へ

逐鹿夜話

△總選擧の期日の近づくと共に種々の隱れた候補者がブロ〳〵名乘を上げ出した矢つ張り東京が一番多い樣なが牛込の鳥井大路と云ふ奇妙な姓名の人の後援で札ビラ切つて横町に事務所を設けたり運動員を傭び込んだりして居る候補者があるが其本尊は誰であるか頓と判らぬのは振て居る

△鎮守の八幡樣に祝詞を奏して武運長久を祈禱した佐賀縣の川原茂輔君は再び東京に歸ると大元氣のニコ〳〵である其れも其の筈今度の選擧は最高點疑ひなしそればかりか今度の特別議會には愴に議長に選擧されると望みがあると八幡樣のお告げがあつたからだとサは大變

△一時東京から打つて出やうとして鳩山のお婆さんに飛び込まれてオジヤンになつた添田增男君は次の選擧には鄉里大分の竹田町から出やうと云ふ積りで今度特に同町の鐘樓修繕費として一金一千圓也を寄附した妙なものに寄附したものだと訊くと『あゝして置けば鐘がゴーンと鳴る每に鄉里で吾輩を思ひ出すよ』は鳥渡考へたが夢の樣だ

△野田大塊翁が久し振りで一日本部へ出頭すると待ち構へて居た小使君が素絹を伸べてピヨコ〳〵揮毫を所望したすると翁はヨーシ來たとばかり筆を取つて得意の蘭を畫き其の上に自讚して曰く『選擧も此通りだ』とは烏渡解せず矢張り野田式

△福井市から今度出やうと云ふ重久儀君は赤貧が却て同情となり宿泊して居ると旅館に交々運動員が押し寄せて盡力しやうと申出中にも茶菓子商の如きは毎日茶菓子を一函づゝ運ばせるなどの大人氣其處で憲政會では無理でも入田裕二郎君を引き出さうと苦心中とは面白い

♣小供の欄

▽一　幼稚園の合唱　横綱の繪

♣春になりました。冷く尖つた表情を持つた北漢山も微笑んで來ました。南山の松林には鶯のさゝ啼きさへも聞こわる頃になりました。

♣窓から洩れるオルガンのいろ〜の美しい音律が空に飛んで、雲になり霞になり踊るになつてもう爭はれない春になりました。

♣こゝには大勢の子供等が小鳥の樣に唱つて居ます。

『小い兒、小い兒、お前は何をして居るか？

『私は梅を描いてます！

『梅を描いて夫れから？

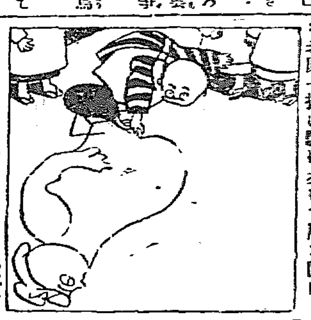
『夫れから歌を唱ひます！

『何の歌を唱ひます？

『黄色い青い著物著て合唱『ケキョ〜ケキョ〜ホーホケキョー』

♣この小い鶯は可愛いお首をよつてオルガンの旋律を追つてゆきます。眞中に立つた坊ちやんは春風さん、も一人の小い鶯は大元さんと云つて水越の御兄弟です。

♣春風君は何よりも畫が一番上手でよく先生を感嘆させます。就中角力取りが大好きでそれが又大人も及ばぬ程よく角力取りの感じが出てゐます。



♣春風君がお庭に出ますと直ぐエプロンの小いポケツトから石筆が出て來ます。そして一丈でも二丈でもお庭一杯に驅け歩いて居る間に、十八番の横綱の雄姿がそこに出現して居ます。

♣お庭を掃く鮮人の爺やを恐がらす事もよくある程、廣いお庭は毎時春風さんの反古になつてしまいます

◉爲替證書用紙を盜みて　郵便所から一千八百圓を詐取す　郵便局事務員新町遊廓で豪遊す

京畿道坡州郡交河郵便所にては二月中爲替證書用紙が紛失し居ること發覺し郵便所長は官憲と共に密かに取調べ中なりしが同所事務員福岡縣門司生れの淺井武郎（二□）が二月廿四日頃京城方面に赴き姿を晦ましたるより監督官廳なる京城郵便局に其旨報告して搜索中同人が黄金町四丁目大野某方に潜伏中を取押へ取調べの結果現金一千八百圓餘を所持し新町遊廓にて豪遊せる事判明したるより該金は押收し身柄を直ちに本町警察署に引渡したり武郎は在職中二月二十二日郵便所備附の爲替證書用紙十一枚を窃取し悉く隨意なる金額を記入し所印を押捺して證書を完成し之を携へて京城に來り黄金町三丁目の郵便所外三四箇所の郵便所より前記の金額を詐取し尚詐取せんとし居れる所を捕へられたるものにて遊興消費したる金は辨償せしめ身柄は檢事局へ送らる

◉奉天暴行事件

去る一月三十日奉天華富銀行に於て暴行を働きたる左記七名に對し三月一日奉天總領事館に於て第二回公判開廷の上左の如く判決言渡されたり
▲懲役一箇月佐伯親造▲同神鳥安次郎▲罰金二十圓稻葉信明▲同柏野菊次郎▲同水谷榮三郎▲同大野幸吉▲罰金十圓岩津廣吉
猶暴行被害者よりの損害賠償は華富銀行銀二十五元、商務總會水會駱有十八元二十錢、孫樹安三十七元三十四錢は被告の連帶賠償となれり

♣春の日浴びて

◉三人強盗酒幕で捕はる

一日午後八時頃平壤府陸里鐵貨商[illegible]の右方へ三名の朝鮮強盗出現し匕首を携へ侵入し主人を脅迫して店の[illegible]鐵貨取混せ十餘圓及び店頭にあり紙卷煙草カブト一箱價格二圓三十錢のものを強奪逃走したるが急報に接し平壤警察署に於ては非番巡査を全部召集し市内の要所々々に非常線を張り大搜査を開始したり平壤署の佐藤、内門、寧城の三巡査は該犯人の人相風體が強盗前科者にて[illegible]不審の點ある平壤大察里無職池龍に酷似せるを以て直ちに同人の宅を取調べたるに不在なるより市内の飲食店の取調べに着手し午後十二時頃鍾陽里飲食店安錫魯方に臨檢の際池龍と他二人の鮮人が盛んに飲酒の最中なりしかば有無を云はせず前記三巡査の外に楊金の二巡査補が一時に飛掛り逮捕したり取調の結果池は前記の強盗事件を自白し連累は池の外平南中和郡祥原面生れ無職[illegible]平南安州郡大選面長谷里[illegible]の二名其他にも犯罪ある見込にて目下平壤署に於て取調中なり（平壤）

◉文券を僞造

忠南論山郡生れ公州本町居住元朝鮮人[illegible]（[illegible]）無職[illegible]面東郊里李鶴範（五[illegible]）の四名は共謀し[illegible]所有の土地を鄭照焰が買受けたる如く文券を僞造し之を擔保に提供して公州面常盤町金仁煥より八千二百圓を詐取したるこ此程發覺し何れも公州警察署に檢擧取調べ中なりしが此程檢事局へ送られたり

新町總代　北野竹次郎君

▲新町▼　町内のご自慢

□名物は、稲荷に裏の松山に……

昔は芝山と畑地

京城の新町は花街として名高く新町の謂ゆる新町なる名前は明治卅七年に新遊廓指定地と定められた頃てからあらう此の町は
▽貝商松田と芝山と畑地とであつたまゝ〜遊廓地に[illegible]此のあたりの丘を通つたものだけれ共[illegible]堂とても極めて最近に出來たもので以前は矢張り淋しいところであつたとの事、此處を遊廓指定地としたのは日露戰爭當時の中井民團長さんである只今新町の戸數は總て百廿戸其中四十三戸が貸座敷である
▽しかし町の人が新新町と區別するところを見れば始めの草分けと後から出來たものとの區別があるらしい、ここにある營業の女の數は内地人四百二十三人、鮮人がざつと四十人、他にまた[illegible]三人住ふ、商賣の種類は遊廓に伴ふ料理屋、酒屋、[illegible]居るといふ
[illegible]町の自慢は後ろの松山と稲荷さん、お稲荷さんなどそれに[illegible]遊びには良い[illegible]を通る[illegible]樓主、廣い庭園には日當りのよい[illegible]
[illegible]ものを借りたのだが[illegible]つて見ると[illegible]なりますこといふ、[illegible]しは居て抱へのために自身は芝居にも[illegible]にも寄りつかぬ[illegible]
『私は以前西北利亞で商賣して居ましたが[illegible]當時私と一緒に開業したのが第一樓の主人で他は大概讓りました、よく世間では此の商賣を水商賣などゝ丸儲けのやうに申しますが實際やつて見ますとこんなツマラヌ商賣はありません、日本全國遊廓の百萬長者がないのがよいためし、餘程質素に儉約致しませんと店の維持が困難となります
▽手前共はこれで二等組の[illegible]とりとめましたが餘り割のよい商賣ではございません……』とのこと、此の町の仕事は總て樓主の會議で即座に決定る、氏子の費用など抱へ人數を標準として多寡をきめる、それに共進會時代に揃へた芝居の舞臺も町内の名物に加へてよからう

△花瓶の水に別盃汲んで▽　悲しく、怖しかりし刹那

□鷄卵一個づゝ分配……非常汽笛……アイけ浸水の■　■救め出されない……十名の決死隊……十五度傾斜□

元山の客舍にて、全羅丸遭難者　中村隆介氏手記

注文津、襄陽杆城で風波のため郵便物乘客のみを搭載して出港した全羅丸は何時しか細雨が吹雪となつた沿岸を長箭港に北航するのでした私は少し風波があるので熟睡もせず間隔的な汽笛を聞きつゝ夢路をウト〜辿つて居ました俄然『ごう……ごう……』と云ふ船底接觸の音を聞きました一刹那船體は

■二三度怪く動搖した■

坐礁だ……と忽ち刎ね起きてみると外の船客もドヤ〜と上甲板に登らうとしました私共の後から從いて出ましたが給仕が『出ては不可ません邪魔になります』と兩手で防いで出しません時に廿七日午前三時四十分、船室に入りましたが如何しても落着いて居られない必要な手廻のみ引抱へて上甲板に出ましたする時荒い雪粉でも打付ける樣な

■吹雪！怒濤！闇黒！■

其の中で船員の右往左往船客の叫聲『ボーイボーイ救命器を出せ』『もう駄目だ』……『アイはもう浸水のため出されません』『船首甲板に浸水しました』ゴーゴーゴーと接觸の衝動、見るもの聞くもの一歩一歩私共の死を呪ふものばかりでした其の中に只アツト私共に一道の光明を與へたのは右舷

■闇黒の中に薄々と■

手に取る如く横はる島影でした乘客一同は（内地人十三人鮮人六十三名）階上の食堂に集合めらされた私は郵便行嚢の上に屈居して壽司詰の樣になつて居ると事務長一寸木氏は一場の挨拶をして居ましたが乘客の恐怖と不安は刻一刻と切迫するのみ或人は無人島とすれば上陸しても凍死すると云ひ此怒濤では斷岩に打付けて到底岸に泳ぎつく事は覺束ないと云ひ

■此の儘凍死するか■

救助せらるゝか天命のみと云ひ結局死と云ふ最後の運命に呪はれつゝ天明を待つ事になりました否それより外に私共にとるべき手段がありませんでした秒秒と刻む指針を見て煙草を分配し花瓶の汚水に別盃を汲みつゝ船橋には悲しき爆發信號機關部の浸水と共に哀れ消ね行く

■非常汽笛を聞き■

つゝ恰度それは私共の運命と同じ樣に哀れな汽笛でした待ち焦れた夜は明けました右舷には二十間内外の處に手に取る如く島嶼があり船體は十五度位の傾斜で船首半部は浸水して今にも兩斷するかと思はるゝ機音をして波に呑込まれそうです私は頭から海水を浴びつゝ再び室内に驅け込みましたけれども一同の遭難したる階上食堂も

◆狂暴なる怒濤の蹂躙するが儘

に委すより外になく一部分は破壞せられて浸水して來ました狼狽せる司厨部では一片の麵麭さへも持出さす浸水中より取出した

✖鷄卵一個　づゝを分配して呉れましたが之の鷄卵一つは山海の珍味より貴重なる食事でした午前八時になり十名よりなる決死隊が編成せられました第一回の

✖二號短艇　は忽ち破壞失敗に終りましたが一號艇は天祐なる哉舷側を辷つて波の間に浮びました、乘客は思はず歡呼して

✖其の成功　を只管祈りました八時半……九時……短艇の消息は無いし私共は嘆息した失望した吹雪は徒々狂ひ怒濤は

✖いよ〜　高い私はモウじつとしては居られませんでした、そして船橋に飛出してみると吹雪、短艇船體の破片、手廻品や積荷の一部が木葉の樣に波間に狂亂し山の樣な

✖波の間に　岩礁が見ゆるのみでした突然前面の山頂に人影二つ三つ見ゆたので一同は人だ……人だ……と躍り上りました、それは決死隊の急報に接し馳せつけた靈津角輪組の人等や船員の一部でした

✖無人島で　なくて人里近きを知つた乘客は相抱に抱付いて喜びました切斷せられたスクリウ破壞せられた舵機を波間に現した艫部の左舷から島嶼の一角に一條のロツプを引き渡し?形のシヤフトを之に懸け一人宛

✖上陸する　樣に諸般の準備が出來上つたのは十時過ぎでした寒氣と戰ふ陸上の應援隊と刻一刻と危急に迫る難破船と相呼應して百數十名の生靈を

✖吹雪怒濤　の中に此の一條のロツプに依つて救助するは容易な仕事では無かつたのです私は最後の乘客から四五人目に此の

✖命の繩に　ぶら下り中途二回程波に浸り陸上に足の一端がついた瞬間『あゝ私は助つた』と思ひました同時に全體の倦怠四肢の知覺がないのを氣付きました焚火にあたつてはならぬと數へられた

✖雪の山路　を登りはじめましたが行方をみると死人の樣な婦人客を背負つた鮮人顧みれば船體を一呑にする樣な怒濤の中に船員が死の全羅丸から生の陸地に命の繩をたどるのが見ゆました

●全羅積載貨物　一千八百餘個

五十九個、通川揚八個、元山揚六百五十一個、西湖津揚七百二十一個、[illegible]の十二個、下の眺より積來れる貨物は二千五百六個なりと云ふ（釜山）

[illegible]

●暴風警報

（三月三日午後三時三十分發）[illegible]

讀者文壇

（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△物は付　題『引かれるもの』

○出過ぎ者の袖（一等）　開城　齊藤　礼文
△神棚のお供　京城南大門局　[illegible]
△情　京城　[illegible]
△月給日に前借金　本町　廣安つれな
△後髪（先著）　平壤　兎　念坊
△子供の手　非邑　白　妙
△口錢　水原　遊金　五[illegible]
△帽子の網　順川　小　羊
△芝居の勝五郎（先著）　[illegible]州　久　住　生

■募集規程　[illegible]

北西の風晴

朝鮮諸官廳受驗叢書

京城專修學校教官　安達大壽計著　二月十五日發行

▲受驗必携　朝鮮六法要論　全一冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携　朝鮮行政法規大意　正續全二冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携　會話譯文速成　全一冊
▲受驗者必携　作文軌範　阪上綱吉著　全一冊
△商業學校教官　朝鮮諸官廳受驗者必携　法律問答　全一冊

定價金各四拾錢　送料各一冊金四錢

本叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適當なる事項は全部網羅し、而も當局者の方針に準備したる模範的の解答を[illegible]

發賣所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

萬年筆製作[illegible]時修繕

○勸業貯蓄債券賣買並に月賦販賣廣告

甲　年十組資長期割拂（此の一組を所持すれば毎月抽籤を樂しめます）
廿圓券六通　四十ケ月拂　毎月一圓八十錢宛　他に申込料一圓
廿圓券五通　廿五ケ月拂　毎月二圓二十錢宛　他に申込料一圓二十錢
乙　十圓券十一通　廿六ケ月拂　毎月二圓五十五錢宛　他に申込料二圓五十錢
五十圓券一通　廿五ケ月拂　毎月一圓[illegible]宛　他に申込料[illegible]
丙　五十圓券五通　卅六ケ月拂　毎月一圓四十錢宛　他に申込料三圓六十錢
右は最終の御拂込金を以て當店に於て當時の賣買値段にて契約致します
○長期月賦拂は三、五、十、十二ケ月拂にて御望の債券を一通にても賣約致します
△月賦詳細規定書御申込次第進呈す
△當店賣買値段は毎月二日廿二日は大阪朝日、十二日は大阪毎日新聞に發表す
△當鑛新號掲載中野商報無代進呈す
○債券送料三十錢要す　電話土佐堀一九六二
△勸業大券賣買取扱　振替大阪九五二

大阪市西區靱北通二丁目　中野商店債券部

誠實なる製品、之れ安全第一

御採用品　帝國醫科大學病院　大阪醫科大學病院　日本赤十字社病院　陸海軍各病院　各縣立病院　官公私立病院

消化新藥　柏木ヂアスターゼ

消化力卓絶にして市上何れの品も強力一定なり故に消化障害を基因する胃腸病には吾が柏木ヂアスターゼを應用せられざるはなし

各地の藥店に販賣す

魚釣具及投網卸問屋

吉備商會　京城永樂町二丁目　振替京城四三三八番

□御申越し次第定價表進呈　□當地網京商店は内地に引揚げられ候

オトギバナシ あひるの子

▲一▼

天氣の良い暖かな日、池の畔りや、暖いお庭をいつものやうに歩いてゐた鷄の小母さんが、フト彼方を見ますと卵が落ちてゐます。しかも二個です。『オヤツ誰れがこんな處へ卵を落してをいたのだらう』と拾ろつてみますと、産んで間もないとみえまだ温かい『これは何より結構だ』と拾つて歸りました。それから自分の産んだ卵が一個ありましたので合せて三個になりましたのを大悦びで早速翼の中へ入れて温めました。

翌日になると可愛い〻雛子が三つピヨピヨと鳴いて生れました。先きに出たのが一郎で次が次郎、あとが三郎と云ふ名を命けました。ところが一郎さんと次郎さんとは毛色が眞白で、三郎さんは淡い黄茶色を帶びた雛らしいのでした。

ある日のこと兄さんの一郎さんは

一『次郎さん次郎さん、これからお池を泳いできませうか？』

次『ね〻……水泳ぎに行きませう、三郎さん行かないの？』

三『僕ら、行かないヨ、水泳ぎなんか嫌い！』

一『それじや次郎さんと二人で行きませう』

と兄さん二人はお池へ行つて水泳ぎをして遊んで居りました。そこへお母さんは見廻りに來て御覧になり驚いて

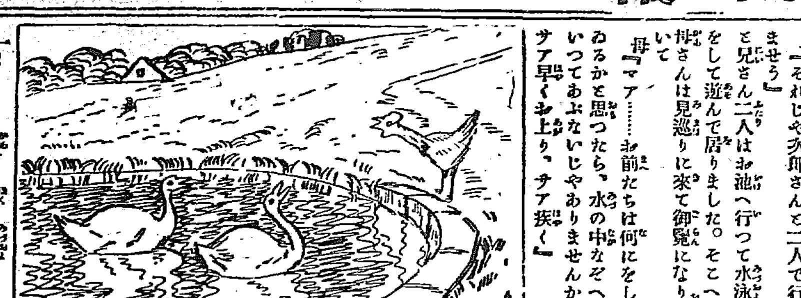
母『マア……お前たちは何にをしてゐるかと思つたら、水の中なぞへはいつてあぶないじやありませんか、サア早くお上り、サア疾く』

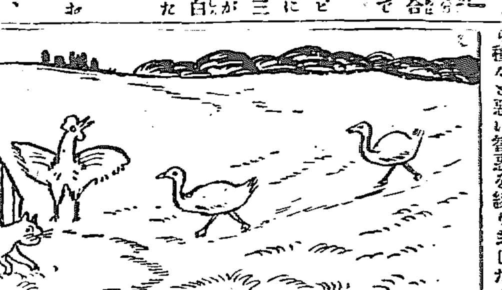
一『ダッテお母さん僕は水泳ぎが大好きなんですから、モウ少し泳がして下さい』

次『ねエお母さん僕達ちは決して危い事なんかしないからねエ』

母『イーエなりません、お母さんの云ふ事を聞いて早くお上りなさい。お腹です冷やすと大變です』

とお母さんに急きたてられて、仕方なしに上つてきました……が、一郎さんは不平で堪らない、之れは的切り三郎が告げ口をしたに相違ないと邪推をしまして『ヨシ夫れなら當方にも考へがある』と呟き、これから種々と惡い智惠を絞りました。





▲二▼

どうしたら宜からう？と考へた末、『妙策ッ妙策ウ』と叫んで計畫したのは恁うでした、之れから兄弟三人して駈つこをして駈け出すと乾度あの三郎が足は遲い一番の先著をする、そこで其の決勝點は例の猫の家と定めておく、一等先著と悦んで居る間に猫君がウヽと飛出して咬みつく、すると三郎めが猫の餌さにされる！面白いぞーうまいぞうまいぞ、と雀躍して欣んでゐますと。背後から、

次『兄さん何を云つてゐるの？』

一『オヤッ聽いた！其處に居たの？それじや聞いたかい？』

次『エ、聞きましたよ』

一『オヤオヤ仕方がないや、それではね、之から皆なで駈つこをしやう』

次『三郎さん！三郎！鳥渡いらつしやい好い事して遊びませう』

三『ナーニ……好い事つて怎んなこと』

一『之れからね三人で駈つこをしませう』

三『エッ駈つこなら大好き早くしませうサア早く』

一『それでね決勝點は彼方の猫の小屋よ、い〻かい近いだらう』

次『サア早く列びませう』

三人はズラリと列びました。何にも陰謀があらうとは知らぬ三郎さんは悦び勇んで居りました。軈て『一チ二イ三ン』の合圖で三人ともバラバラと走り進みました正直な三郎さんは韋駄天走りで駈けだしました。次いで一郎さん態と緩い駈足で進んでゐる未だかまだかと猫の小屋へ目を注いで行きます、後へ次郎さんも之れに追い一歩一歩と近づいて行きます三郎さんは猫の小屋へもう僅かのところまで參りました。

▲三▼

お家に殘つてゐたお母さんは、怎うも子供も同じ樣に可愛いので、永く遊んでゐると怎うかしはせぬかと心配でならず見廻りにゐらしたら、其の出逢ひがしらに、次郎さんがワアッワアッ……と泣き叫び歸つてきました

母『何うした？誰か何かしたの？』

と聞き訊してごらんになると、泣きながら、

次『アノどら猫が咬みついた』

母『どこを咬みつかれた？』

次『咬みつかれて殺られて了つた』

母『何にを殺られたの？』

次『アノね兄さんが……』

母『エッ……一郎が！』

と吃驚して

母『一體それは怎うして？』

と訊ぬるゝまゝに、すつかり譚りました

次『三人で駈つこをすると三郎さんが第一著で猫の家の前で萬歲！萬歲！と云てゐると今まで晝寢をしてゐた猫が目を覺した處へ第二著の兄さんが來たものだから、とうとう咬みつかれて猫の小屋へ入れられてしまつた』

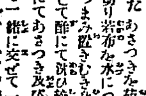
母『だから危い遊びはならんと云ふのに、ア、可愛想に一郎が』

とお母さんは戸外へ出て御覧になると彼方から三郎さんが兄の一郎さんを助けてきました。之れを見てお母さんは大層悅び三郎さんは褒められました、一郎さんは兄さんだけれども今までしたことが惡いことでしたから三郎さんの前に手をついてお詫びをしました助けていたゞいた御禮を云ひました、このことがあつてから、家鴨は陸地が怖くて水の上でばかり暮すやうになりました。（をはり）

●學藝品展覽會（平壤女子高普）

平壤女子高等普通學校に於ては三日午後一時より春期學藝會を催し生徒の唱歌國語對話地理歷史理科家政等の國語鮮語諸話就話實習等あり午後五時閉會したるが當日田中高等普通學校長初め市内各學校長敎員及び新聞記者生徒父兄等約百五十餘名參觀者あり生徒の流暢なる國語と唱歌には參觀者を感動せしめたり因に同校の造花刺繍は最も精巧を極め殊に刺繍は掛額屏風クッション等本職を凌駕するの出來榮なるが同校に於ては時間の許す限り材料費入料だけを以て希望者の求めに應ずる由

たべもの その日く



▲ぬた　あさつきを茹て五分位に切り若布を水につけ五分位につまみ殻をむき身を酸煎りにして酢にて洗び絞りその酸酢にてあさつき及び若布を洗ひ共に絞り以上三種を一緒に交ぜて一方擂鉢にて擂り味噌を入れ砂糖を加へ酢にてのばし裏漉にかけ前の三種をよく交ぜて器に盛り上には黄色に白髪獨活でもかけて御めます

演藝案内

櫻井町 電話八七三 大正館

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

三月三日より引續き特別大興行 ●世界的大寫眞と大餘興提供 ○實寫伊太利カプアの景 ○喜劇輕便なる生活法 △舊劇羽柴松之助一派出演 ○舊劇『源平戰史白旗八郎』全三卷 平家の勢熾にして源家の殘黨諸藏しく偶々九死に一生を得て鞍馬山に入り牛若丸と共に源家再興を企てたる白旗八郎の一代記にして松之助一派が最近懸命撮影の大史劇 △米國ユニヴァーサル會社大傑作世界的大寫眞 ○大活劇『快漢ロロー』全四十卷の内初編四卷 メキシコに大牧場を所有せるジェームスの一女リバチーと婚約し六十三歳を一期として逝去す遺言して嗣なきサインストン少佐及び親友レオンに托し且つ悪漢ロローに金品を與へて保護を一任す...快男子と雙の一悪漢大活劇...に發なる興味を示さんとす △米國キーストン會社傑作 ◎滑稽大活劇『ガッスルの惡戯』全三卷 △日活國東派立花貞二郎一派出演 ◎新派大喜劇『伯爵御次男』全三卷 現代理想の大權威キーストン會社と日活會社の傑作を選り竟めてニコ〱會と名を冠けた新趣向レコード破りの催しに御探坊様お父様お祖母様も御一所にニコ〱愉快な大正館 ▲◎餘興英國人ハレー氏出演 ▲特意の音樂、手踊、義太夫、浪花節、其他種々御川競爭取り替へ御高覧に供し申候

京城壽町 電話一〇五〇 壽館

■壽館の危險眼力術 曾て照憲皇太后陛下御前に於て光榮を賜りたる天勝一行の眼力術及び薩摩琵琶の彈奏は初日より女史入りなるが殊に餘興として吉川今盛は得意の大喝采を博し居れり △筑前琵琶 大高源吾（汀月女史）△琵琶舞 能寺（琵琶神谷秀節、劍舞天明成孝）△琵琶 櫻井之驛（神谷秀節）△薩摩琵琶 乃木將軍（島津南城）同 義經百傑 同上 △劍舞天明師 △居合及眼力術（天明師）△餘興 新小説讀（吉川今盛）、神崎東下り 道別人（吉田奈良子）

早川直營 電二六三七 黃金館

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

三月一日より特別興行選拔映畫提供 ▲伊太利文藝キエースター・フローベル氏不朽の作バスクア會社代表的名作映畫 西歷紀元二百四十一年前の歷史劇 ▲古典大史劇サランボオ 全九卷一萬呎 出場俳優無慮八千人、撮影費三十萬圓 史劇カビリアを除かば世界一として何人も此映畫を指さん 雄大なるサランボオは多額の權利金を投して早川演藝部の手に依つて公開さる サランボオを知らねば活動を見る資格なしと活動通の語る所なり世界的映畫として必ず見ねばならぬサランボオ 説明者 瀬田生、岩下洋、南郷公利 ▲大井、五味、木下大合同 ▲新派大悲劇『うらみ』全八十場 天活會社大阪新派最近の作になれる特作品泣くまじと思へども泣かずにはゐられぬ近來稀有の大悲劇 ▲滑稽女優の失敗（六時より映寫）▲實寫アルプス山（六時二十分より）▲新派悲劇うらみ（全卷）（七時十分より）大史劇サランボオ（九卷）八時四十分より ▲今週の特別興行に限り觀覽料値上一等金五十錢二等四十錢三等三十錢學生軍人は特に三等五十錢

未曾有の大好評
初日午後七時滿員札止
世界的快漢ロロー大寫眞
四十卷の内初篇の卷上場
ニコ〱大會
ガッスルの惡戯と伯爵御次男
餘興 英國軒ハレー
浪花節・淨瑠璃・落語・手踊り
短期上場 勿見逃す
大正館

明治町 電話二六〇 浪花館

○二月廿四日より毎夜五時開演 △女流浪界の横綱廣澤夏菊一行來る 各位益々御壯榮大賀候陳者今般女流浪界の横綱廣澤夏菊外十數名の大一座今回内地より手揃ひ出演仕候間何卒御來聽の程偏に奉願上候 浪花節主 敬白

毎夜讀物摘き △御生仙吉傳（廣澤照月）△廣澤菊若 若ノ寛政力士傳（廣澤菊友）△豐臣三蓋兒（廣澤菊の娘）△水戸漫遊記（京山相生）△廣澤菊樂 菊苦心談（京山風勝）△義と勇、偵勇婦傳（廣澤夏菊） 永勇婦傳（廣澤夏菊）

月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす 京城黃金町三丁目 山田しづね

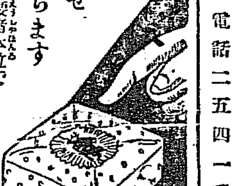
○惚れさせるまで
『人心收攬術』大評判忽ち百五版
どんな無粹なお方でもタッタ五分間會へば乾と惚れさせる秘訣を花柳哲學を基礎とし頗る面白く書いたのである。之を男が應用すれば女が惚れ、勸人奉公人が應用すればお客に惚れ、商人が應用すればお客が惚れ、世は思ふまゝ。花柳界は勿論直接に身を立て出世は思ふまゝ。商賣の人はこの惚れさす秘訣を體得すれば其日から繁昌は疑ひなし 發見捏手法は同性異性を問はず實際に適用して奇妙奇妙。梅藤田王子著 五錢切手一割増）送料二錢切手（東京金杯版劇寫眞數葉入ポケット形天金附特製美人色刷 京都府…
◎似せ物が出來た 東京にも大阪にも出來た 著者と發行所に御注意

葵印
年産額八十四万函
窓硝子
三等品 舶來品ニ比シ一層優良ニテ御邸宅用ハ是非此品ニ限ル
四等品 從來輸入ノ品ト同一ニシテ通常舶來ト稱シ需用最多シ
五等品 即チ松印ハ經濟向ニ限リ御使用ヲ乞フ
兵庫縣尼崎市
旭硝子株式會社

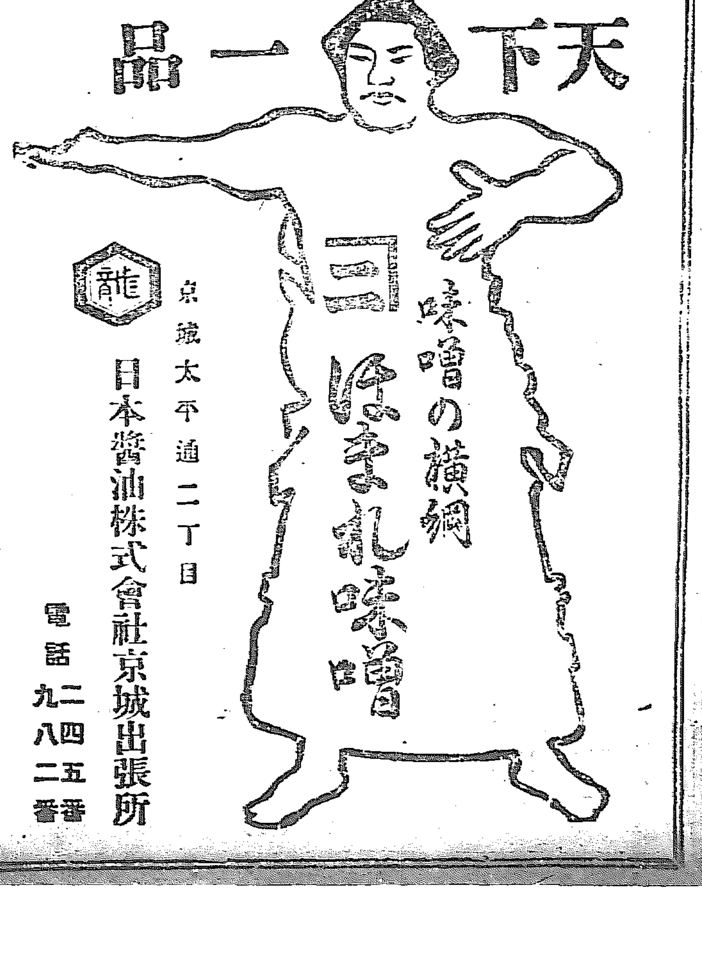
産科專門 婦人科
京城明治町二丁目（元京城病院下横通川崎大正醫院前）
（手術室病室各等完備）
中央婦人病院
院長 衣笠 電話二三四〇番 茂

效能
逆上を引下げ便通をよくし
胎毒其他諸毒を下す
效能で賣れる
せうえんひあふそり
京城南大門通 諸病藥
本家七ふくや伊藤長兵衛

内科小兒科 外科花柳病
▲入院隨意▼
京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡（朝鮮銀行前停留所より二分間）
酒井醫院
電話二五四一番

孔ある紙で
包むだま〻御使用遊ばせ
効力同じで永く保ちます
是れ需要者本位で出來た本品の特長です

定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金五錢 大判金十錢 各地藥店小間物店にあり

全國各學校卒業生賞品又は記念品として陸續採用
天覽 蘇峰 德富猪一郎新著
大正の青年と帝國の前途
上製 總クロース上製天金 函入菊版七百五十頁 定價金二圓八十錢 郵稅十二錢
並製 四六版七百三十頁 定價金八十錢 郵稅八錢
‖第七十五版も亦賣切‖
□本書發刊當時（昨年十一月）最も先に双手を擧げて歡迎せられたるは、全國中學校長會議に參列せられたる校長各位にして、第一に敎育界に向つて推奬せられ、又た學生諸君に對して購讀を勸誘せらるゝこと、本社の感謝措く能はざる所也。而して著者立言の精神が、全國敎育家諸君の認識諒會する所となりたる立證は、昨今各學校卒業季節に際し、本書を賞品又は記念品として採用せらるゝ向き頗る多き事なり。今其の二三を擧ぐれば、栃木縣立宇都宮中學校、岐阜師範學校學友會、岩手縣郡立膽澤農業學校、又た女學校としては伏見桃山御陵下菊花高等女學校、鹿兒島縣女子師範學校、山口縣立大津高等女學校より照會中のもの亦頗る多し。
□本社は著者述作の本意に基き、各學校に於て賞品又は記念品として、本書を採用せらるゝ向きに對しては、部數に應じ特に割引するは勿論諸事出來得る限り御便宜を計り可申に付き、本社の微衷御賢察の上無御遠慮御相談を願ひ度此段謹告仕候。
發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂 京城本町一丁目 日韓書房 京城日報各地支局



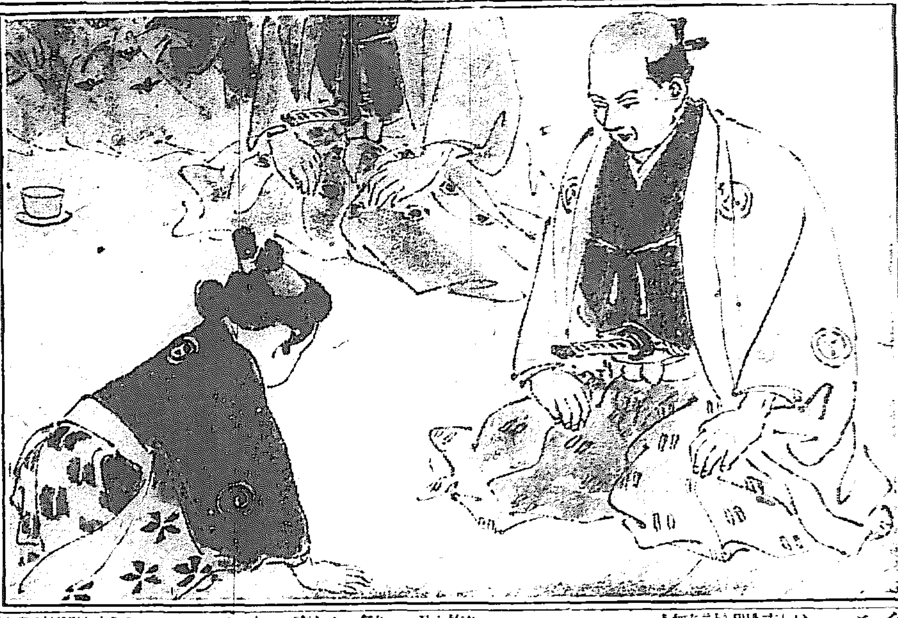
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四五番 九八二番

金山浦往復文律提二百七個、興南提…其他…十九十三個、千城提二十九個、長箭提…せる貨物二十一個、鐵道局連絡のも…
同乗、同客…星野芳…田野倉賢…上兵衛…
何書何號と明記に限る 京城日報 三月一日 二月十日

明君道中記

第七十六席 田邊南龍口演

川上主膳が振上げた一刀エイと一聲、刀の平で頸筋をピシリと打つて其儘鞘に納め 主『コレ家來共此の死骸を奥の一室へ入れ置け』○『畏りました』と新之助の手を取つて家來が伴なつて參ります。庭から座敷へ歩いて行く妙な死骸があつたもので、家來ばかり主人の意中を知りませんから何うしたことかと不思議に思つて居りますと其內に母親の初七日となりますと親戚を始め家中の者を屋敷へ招きまし



た、新右衛門方へも使が參る、一旦は大島も斷りましたが度々の迎ひ故無據列席するやうなもの、心中には我子が手討になつたかと思へば何となく面白くはございません欝々として居ります。處へ精進料理で御酒が出で大勢の者は皆馳走になつて居りますが、新右衛門は酒どころではございません、凋然として居る。時經つて主膳が其處へ出て參り 主『皆今日は母の初七日各々方へ精進料理で御酒を差上げ、魚類が無くお氣の毒に存ずるが何うか悠々召し上つて下さる樣』○『今日は御母公の初七日精進料理は又格別、遠慮なく頂戴いたしまする』主『各々が大勢打寄つて、召上り下さるはつまり佛の供養』○『イヤ恐入ります』主『手前も各々

のお相手をいたすでござらうと、川上主膳も其の席に列つて二ツ三ツ盃を擧げて居りましたが、頓て主膳が 主『皆各々方に主膳が只今まで秘して居つたことをお話しいたさう』○『ハヽア、秘して居つたことゝは』主『今を去ること十二年の昔』○『大層古いことで』主『決してお笑ひ下さるな、十二年前には手前も未だ若盛りであつたが、其の砌手前屋敷に仕へ居りましたみよと申す侍女がござつた、

其のみよに手を附けましたので』○『是はお戯れで』主『イヤ戯れではない、間もなくみよは懐姙いたしたに依て宿元へ引退げ手當をいたし置きました處、其の後男子出生いたし産後の日立悪しくしてみよは歿しましたよつて其の小兒を里に遣はして置きましたが、恰度其の倅が當年十二才と相成つたので、此度手前方へ後を引取りました』○『ハヽア』主『未だ各々方は御存知ない、依つて其の倅を此處へ呼びまする故何うぞお會ひ下されて向後宜しく願ひまする』○『それは始めて承はりましたが、御當家の御子息とあらば是非お近付きになりたいもの、何うか此處へお呼び出し下さる樣』主『只今呼出しまする』其處へ出ましたを見ると十二才とは云

へ大柄にして立派な少年、黒の紋附に仙臺平の袴を穿け、頭髮は前髮立、愛嬌は水の滴る樣、是を見て人々は不思議に思ひ ○『オイ長谷川彼の小兒は大島の伜新之助ではないか』長『然らさ新之助に違ひない』と云つて居る、此時主膳はコレ伜各々方に御近付きの御挨拶をいたせ 伜『ハイ、畏りました』と一統へ挨拶をする是を最前より見て居りましたのが大島新右衛門 新『ハテナ、伜新之助は手討になつたといふことであるが、今彼處へ出て參つた主膳殿の御子息といふのは全く伜新之助である、コハ如何いたしたことであるか、夢ではないか、夢なら覺めるな』すると主膳が新右衛門に對ひ 主『貴方の伜新之助を老母の敵と手討にいたしたが、其方は外に子供も無く洵に氣の毒なことをいたした、俺には子供がある、依て此の伜を貴公に遣はすから死した新之助が蘇生いたしたと思つて此の伜を新之助と名付けて貴公の養子にしてくれまいか』と云はれ新右衛門は雀躍をして喜び、主膳の情に感じて新之助を伴れ歸りましたが此樣子を見て居た人々も主膳の大度量に感服致しました

毛皮なめし並仕立
鳥獸剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三〇四九九番

愈々寒さ來れり 冷性で御困りの御方は―
津村本店の人參エキスを 御存知無き御方でしよう
京城本町一 電話一四八〇 振替三五一二 津村兄弟商會本店

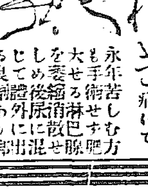
三月六日九星 舊二月十三日丁未 本命五黄 八方 定 友引

▲五黄● 一寸快々する事有る日 新事見合南方は吉 旅行なし▲六白● 好お果の日 轉居入學行商名弘家作求職合作組織船舶等萬吉▲七赤● [illegible] 婚の日轉居開業出職名弘金談求職婚姻電氣蠶業等萬吉▲八白● 騙され困難の事有る日新事手控ゆる事は吉一切のせわ事を禁ず▲九紫● 快活の日轉居行商入學名弘採鑛求職金談株組貿易商等萬吉▲一白● 物の衝突な意味する日新事手控ゆる事は吉爭ひを謹まるべし▲二黒● 新規を生じ安き日新事手控ゆる事は吉貸出し證印等せぬがよし▲三碧● 喧嘩議論を生ぜんとす新事手控ゆる事は吉行儀作法を守るべし▲四緑● 女難失物用心の日新事手控ゆる事は吉衛生に注意せらるべし

一 櫻井公立尋常小學校敷地擴張工事
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ十以上
入札者ハ當學校組合區域內ニ於テ國税、府税及當學校組合費年額參拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ二ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右請負希望者ハ當學校組合ニ就キ入札心得書、契約書案、仕樣書及現場等熟覽ノ上參月六日午前拾壹時限リ當學校組合ニ入札スヘシ
但シ參月參日午前拾時現場説明ヲナス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正六年參月貳日
京城學校組合

特約店
小資本を以て急速の成功をなし得可き特約組合店及莫大の收入ある一村一名限りの特約組合店募集 第二郡獨占支部募集返券入照會次第成功の手引たる營業案內進呈
東京神田萬世橋際 日本通商聯絡株式會社

りん病 消渇で困る方 多年の慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試みよ此藥は他の藥店にない切手三錢添へ一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を敎ゆ
名古屋市南かじや町 武藤亀吉



ろいれき（ルイレキ）病にて永年苦しむ方も手術せずして淋巴腺を萎縮せしめ後外に散出せしむる良劑あり證入者に二錢封入にて詳報す
東京芝高輪北町二二 敎生堂

酒煙草きらいになる藥
禁酒丸 禁煙液 どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる 郵券二錢送れば説明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其他名士の
本舖 大阪西區靱南通一 森田商店

男女のなやみ
はこ― ○○○障害である
▲遺精早漏の人
▲夢精過漏の人
▲勃起衰弱の人
▲陰莖萎縮の人
▲神經衰弱の人
ヒステリー症の人
▲手淫過房より起る人
患者は勿論人生無上の快樂を得んと欲する人は大阪市東區谷町一丁目松田學太郎宛二錢切手封入申込め [illegible]

オイン
七歳より下のコドモかぜ＝ねつ 特效藥
主效 かぜ、ねつ 麻疹、腺炎 流行性感冒 マラリヤ熱 百日咳、其他熱一切
內田藥學士監修 稻垣醫學士証明 山口醫學士方劑
本舖 大阪 東京 丹平商會
價十錢、二十錢、三十錢 各藥店にあり

腦病良藥 レーベン
岡田博士を初め森、日向、內田氏等十有餘名の諸大家が效能を證明せらるゝ本品は最高貴藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良藥なり故に腦病、神經衰弱、不眠、頭痛、眩暈、記憶力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積と體裁を貪らず服用量極めて少くして効驗極めて大なり
藥價（三十錢・五十錢・一圓六十錢）
東京日本橋區 電話 中南定太郎
大阪 電話 中南定太郎
信用ある藥店に有り

石炭
明治町 村山商行 電話一〇五一

鐵砲は
橫濱の金丸銃砲店に限る
（御望みの銃砲名御問合せ…）

花柳病外科專門
梅毒 淋病 痳病 肛門病 泌尿生殖器病 翠丸 神經衰弱 皮膚病 ヒステリー 六〇六號注射 包皮手術 其他手術 子宮內膜 毎日 京城南大門通 農工銀行裏
司生堂醫院

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是と迷ふ無く 眞に能く効く 神仙湯を
即刻試みよ現に……
烈しき神經痛で惱みし人
頗る難治のリウマチスの人
數年固疾の疝氣で苦しみし人
百法効なき子宮病の婦人
常に悲しむ血の道の婦人
多年惱めるヒステリーの人
不治の慢性胃腸らめしき人
などか此良藥神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り惡篤な症狀（現在保存の證に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神仙湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

躰質改良劑

●こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、背、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛●彼處此處と移動し●何となく怠く●腹張差込●腹なり胸つかゑ●溜飮●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴●頭痛●歯痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●氣鬱●癇高ぶり薄らぎ記憶あしく●顏手足の浮腫等●物事に感じ易く●疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神仙湯を試みよ
價藥 十週分 卅五錢 廿週分 一圓 卅週 一圓五十錢 試用分 十錢
本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎 電話 千百二十七番 振替 東京 大阪

無代進呈（往復はがきにて申込あれ）
園藝カタログ 大正六年春期號
本號には銀カップの懸賞あり ダリヤ、菊、バラ、カーネーション、ゼラニューム、朝顏其他一切の春蒔春植込の和洋花卉蔬菜の種子、苗、根類を網羅す。各種には親切なる培養法を述べ美麗なる口繪、挿繪の寫眞版にて形容を示す、然して此のカタログにより提供せらるゝ總ては最も正確にして發芽力生育力旺盛なるものなり。
京橋區日吉町 國民新聞社勸業部
京城太平町 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

昨年來當地に於て出張治療中の處患者各位の希望に依り今後一ケ月間引續き治療に從事す
痔核。痔瘻。脱肛。直腸脱。痔出血。裂痔 外一般
京城長谷川町安東病院內 電話七三番
久枝肛門病專門醫院

◎家庭贈答品には天下一品
食後の快感は 衞生の重要なり 六種の妙香は 長壽の親玉なり
富士ようじ
△六香揃 △はくか △しやんぴんさいだ △れもん △にくけい △さんしよ △ばいあつよる
●富士ようじの供へなき時は食卓の美を缺くさ稱讃せられつゝあり
●高尚優美切組細工箱入大中小御進物用として尤も適品なり殊に內地にては旅館茶代替し等に需用頗る多し
富士楊枝製造發賣元 靜岡縣駿河國江尻港岸（長電二〇四番）
東洋堂 阪上政次郎謹製

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意 電話二六〇一、〇八番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四一八四五四九 振替京城五七番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 **朝鮮肥料製造所** 電話二六三五番
京城西崎町一四番地 **朝日石鹼製造所** 電話二五六四番 振替口座京城一〇〇〇四番

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
★株式會社 **百三十銀行京城支店** 京城本町壹丁目
電話 五八番 一九三四番 振替貯金 京城 一一一番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

大正六年三月五日 THE KEIJO NIPPO 第三千四百一號(一)
(明治九年八月十日 第三種郵便物認可)

京城日報

第三版

三月五日
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵送料一ヶ月金拾五錢
廣告料 五號活字十六字詰一行金八拾錢
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

としては國[illegible]財政上の影響其他複[illegible]動員證券動員等各方面の動員を行ひ來りたる所にして近來同國に於ける船腹不足[illegible]ものあるのみな[illegible]支配權を政府の手に收むるを以て船腹調節の遂行を圓滑容易ならしめんと努め居る次第なれば今回の輸入禁止令[illegible]べき影響に就ては現に英國の輸入禁止を受けたる物品の對英輸出總額は大正五年に於て約三千萬圓の巨額なりと云へば之に對する運賃も相當の額[illegible]に於ては結局左程の影響なきこと、なる次第なれば從つて其影響程度も一つに今後其充し得べき貨物の増加如何に依つて決せらるべし(東京)

[illegible]市場を[illegible]何れも之に全力を注ぎ來れるが明年度産糖は更に増大して六百七八十萬擔に上り内移くとも三百萬擔以上は支那市場を主として之を海外に輸出[illegible]

決して[illegible]業は[illegible]せざるより[illegible]は一日午後一時臨時會を開き協議する所ありたるも結局本問題は愼重審議を要するものあるを以て更に調査の歩を進めたる上適當の方法を審議すべしといふに一決し同三時散會せり(京城)

[illegible]千四百六十一留にして豫算を超過する事二千八百七十八萬四千二百九十四留、之れを前年に比し一千五十四[illegible]て其支出二百[illegible]除したる純利益は四千五萬留に達し其總決算の時に於ては其額五十萬留に上る可しと

米大統領の演説

大統領ウヰルソン氏が先月廿六日上下兩院聯合會に臨みて獨逸の潜水艇戰策宣言の結果よりして生じたる形勢を述べ公海に於ける米國民の生命財産の保護に必要なる手段を取り得るの權能を附與されん事を請求したる事は當時の本紙外電の如くなるが今大統領の演説を掲ぐれば左の如し

今日米國民の爲す可き義務の何ものなるかに就ては何人も疑義を懐くものの無し即ち此の危機に際して吾人は愼重にして且つ明白にして的確なる目的を以て我が貿易及び國民の生命を防禦せざる可からざるなり剰ます所は唯だ防禦を要するの機會發生したる際に於ける手段と範圍とを選定するにあり我が中立權が獨逸の爲め不法なる侵害を受くるに對し不幸にして吾人は外交政策に由つて之が保安の不可能なること立證せられたる以上吾人は武裝的中立の方法に出づるの外途無きなり吾人は如何にして武裝的中立を維持するかを知れり而して米國は之に對する幾多の前例あり如何なる場合に於ても我が武力を活用せしむるの必要無からんことは吾人が切に希望する所なり武力の活用は米國民の好まざる所にして吾人の好まざる所も亦國民と一致せり、余が如何なる精神を以て余の衷心切望する所の目的に向つて努力しつゝあるか又た余が爲す所の總べてのことに對して余が表示せんとする所の精神の如何なるものなるか余は米國民の之れを了解せるを確信す余は交戰國民も亦吾人を了解し吾人に對して不信の念なからんことを切に冀ふものなり余は平和の友にして余の力の及ぶ限り米國の爲め平和を保留せんとするものなること、危懼隱忍の過去約三箇年に通じて余が既に世に公示したる以上に更に其證明保證を示すの要なかる可し余は目下開戰を提唱し之を考慮するものに非ず米國民は今や平和の裡に在り彼等は平安、好感を以て平和的事業に從はんが爲め平和的權利を實行せんと希望するに外ならず是等の平和的權利は古來世界の文明國間に認容せられたるものにして余は單に諸君が自身の投票を以て此の一大國民の權利を實際方面に保護するの權能と機關とを確實に余に附與せられんことを諸君に要求するのみ余若くは國民の選定したる方策は米國を戰爭に導くものに非ず戰爭は唯だ他國より米國に對する故意の挑戰的强壓行動に由つてのみ開かれん余が今此場合に於て確然たる提案を爲し或は行動を擇し能はざるの理由及び何が故に最も確然たる條件の諸君に援助を乞はざる可からざるかを了解されたるならん武力の活用を必要とするの形式は未だ豫測し難し余は米國民が危機に對する好感と信頼との異精神を以ての數箇月間を通じて表白したる余に今回も亦余をして細心の注意を以て事に當らしむ可く進んで余に倚頼するものならんと確信す余が諸君に向つて若し必要の場合に於ては商船に防禦用武裝と同時に武裝使用に要する物品とを供給し別に公海に於て正當なる平和的業務に從ふ米國民及び其船舶の十分なる保護に必要と認むる他の機具或は方法を用ひ得るの權能を與へられんことを要求するは蓋し此の確信に基くなり同時に余は是等の權能と共に戰時の損害に對する十分なる保證其他必要と認むる方面に滿足なる準備を爲すに餘り有る費用を支出せんとも要求するものなり

以上の演説に依れば武裝的中立とは如何なる意味を有するや又用兵に關する權能とは具體的に如何なる事を意味するや未だ詳かならざるも恐らく大統領は開戰の場合を豫想して米國民保護等に關する戰時立法其他臨機の處置に就いての權能の委任を求めたるものなるべし要するに大統領が今回の要求を爲したるは開戰の場合を豫想しての豫備手段なること勿論なるも之が爲め米獨の開戰を見るべしとは信ずる能はず米獨の形勢が漸次險惡となりつゝあるは事實なれど米國としては對内策としても將た對外策としても開戰の責任が全然獨逸にあることを明白ならしむる新なる事態發生したる曉に非ざれば輕々しく開戰を爲す能はざるべし

東部 内蒙古鑛産(七)

△石炭

▽其他の炭礦 踏査區域内には前記の外幾多の炭礦あるも孰れも有望ならざれば唯其概略を摘記すべし

▲走爺嶺炭礦 搯搭利撈炭礦の南四支里建平に通ずる山道中に在り炭層は一尺乃至二尺、炭質は有煙にて過半粉炭なり目下三坑ありて稼行中なるも出炭僅少に過ぎず本礦は炭層薄く炭質不良にて且つ區域狹少なれば有望礦と認め難し

▲蘇子溝●九座塔炭礦● 凌源縣に屬し建昌を距る北々東四十支里温泉を以て有名なる熱水湯の東北十九支里の丘陵地に在り炭層は三層にて上層は四五寸中層は平均二尺時に五六尺に達する處あり下層は一尺内外、各層間隔一尺乃至十尺にて地表よりの層迄は垂直百尺乃至百四十尺なり炭質は散炭の如き外觀を有し有煙長焔にして灰分硫黄分に富み一般に脆弱ならず本礦の發見開掘は百數十年前に係り爾來斷續的に稼行せられ舊坑の數百餘に達せりと要するに本礦は質量與に不良不足且つ需要の區域小なるを以て有望と認め難し

▲東元寶炭礦 赤峰縣に屬し赤峰の東九十支里の丘陵地に在り老哈河東岸を北流し地質は中生紀の砂岩、頁岩より成り炭層は三層にて何れも五尺乃至六尺に達す炭質は塊炭に富むも粘結性を帶びず發熱量低く有煙長焔の褐炭なり竪坑二あり一は深さ十四丈にて未だ著炭せず他は十七丈のものにて日々出炭せり本礦は炭質不良なる上に採掘容易の部分は採掘されたれば今後の採掘は困難なる可し

▲井子礦●炭礦● 赤峰縣に屬し赤峰の西南約九十支里の水泉と稱する村邑の北方三支里小溝腦に在り赤峰より馬車を通ず地質は中生代の砂岩、頁岩等より成り炭層は其互層中に介在し三層あるもの、如し上層は一尺内外中層は二三寸、目下稼行せるは上中兩層にて下層は未詳なり炭質は光澤ある無煙炭にて往々硫化鐵を散點す灰分少なくして發熱分に富み發熱量亦高し宣統二年十月より合資組織を以て開坑し一日の出炭一萬三千斤内二千斤内外は塊炭なり本礦は柳條子礦に比し採掘容易に且つ火力强く家常用に賞用さるゝも今後の採掘は排水に妨げらるゝ可く又炭田區域狹少なれば其隆盛は永續せざる可し

大阪より

▲ト船益々減少 目下トロール船は漸次減少の趨勢を示し居れるが一月末現在の調査によれば三十隻にして昨年末に比すれば十八隻の減少にして一年前の百四十隻に比すれば著しく減少せり斯の如き狀態を示したる主因と目すべきものは近時重用輸送船として轉賣されたるもの約五十隻を算せるが道は一時漁獲頗る不振を來したる際是等の應急策の擧に出でたるものなるが昨今の如き漁獲旺盛期即ち現在漁獲高一隻平均五萬圓とする時は一昨年末現在の百四十隻三百萬圓に對比し目下三十隻百六十萬圓は實に約二分の一の漁獲減少を示し居れりと

▲奥羽石炭積出減少 若松港より二月中の阪神並に瀬戸内海各方面に曳船運炭の積出高は六萬四千四百十五噸にして總積出高に對比すれば約一割七分に止まれる勘定にして曳船三百五十隻に對し一隻約百八十四噸の積載高に當れりと細別を示せば如左

大阪二萬七千五百四十九噸▲神戸一萬二千二百十四噸▲呉五千五十七噸▲神の島三千八百二十二噸▲岡山一千五百十八噸[illegible]等なりと因に十二月中の積出高に比すれば約二萬四千五百噸の減少を示し居れりと

▲セメント强含み 目下セメント界は頗る活況を呈し頗る需要を喚起し居れるが現在の各社一箇年の製産高は四百五十萬樽を算し内海外輸出高は約七十萬樽と見て實際の内地消費は三百八十萬樽なるが近時の如き需要旺盛に連れ到底供給不足を告げ居れる實情なるを以て市價の如きも漸次新販路を開拓せるを以て新規注文頻なるも從來海外輸出値段内地物に比し約九十錢乃至一圓方の割安にて商談成立したるも近時内地需要喚起に伴ひ市價昂騰を演じ居れるが一方品不足に船腹不足運賃高のため不成立の商狀を呈し居れるが今後セメント界の新規計畫著なる現狀の市場に現はれ需給關係を圓滑ならしむる限りは當分强含みの儘或は多少の騰貴は免れざるべきかと云ふ因に目下小野田一樽の値別は左の如し

淺野五圓九十錢▲小野田五圓八十錢[illegible](大阪支局)

日報詩壇

高田小芥

○東萊雜詠

發南大門驛

人唱離歌我說愁、寒颸吹鬢步驛頭、怪來淚源無端霑、忽作冰珠鎮兩眸。

評曰 同人惜別天還泣

自京城到釜山

滄海搖山人欲奔、寒風條匪[illegible]梁村、[illegible]更有無端起、曉看玻窓怒浪翻。

評曰 實景如畫

搭東萊溫泉

擲却塵縈[illegible]李新、悠然蹴臥老循貧、水活[illegible]係閑我、洗去紅塵業市塵。

評曰 警醒凡俗

航玄海

玄海怒濤何足驚、麗羅姉妹導人行、空中更得飛騰術、直指臨門到帝京。

評曰 氣承壯麗

遊嚴島

綠蓬萊七里程、宮廊百八錢中明、[illegible]神鹿踏楼聲、[illegible]苑臘梅聯寄情。

評曰 余曾遊嚴島有鶴下瑞蓋山一角、月懸華表海中央、詞頭樹合神鴉護、洞口花飛白鹿來、鹿踏紅霞標調晚、鵬啼凉月橋山天、鼓聯誦高作不堪神往

奈良古都

千年佛塔與雲齊、猿澤古池龍女栖、去聞半安宮殿跡、一群神鹿戀人啼。

評曰 後半使人在畵中

茶業奬勵の必要(一)

渡邊彰(寄)

■朝鮮に於ては現今吾人が日々需用に供する茶の生産殆ど皆無の姿なるが是れ其の氣候と其の地味とに適せざるに因るか否やを仔細に考究して之を歴史に徴すれば古は適當の地を擇みて之を植付け其の蕃殖を圖りたる事實あり又上下交々之を嗜好せる事實歴然たるのみならず佛寺作善の供養品として儀式上にも之を重要したる事實を徴するに足るものあり

■然るに現今は全く世人に閑却せられて唯智異山の一部分に古代繁茂の面影を存するのみ今其の葉を摘て之を製し之を喫茶の用に供することを業とするものなし之を以て時々刻々の需用を擧て之を内地の生産地に其の供給を仰ぎ以て其の用を充たすを普通の狀態とす是れ抑も何に原因するか實に思を靜にして考究を要すべき點にあらずや

■且つ合邦以來既に六星霜を經るの間に於て内地より各種の産業を經營する者陸續として移住し喫茶の分量は之に伴うて益々増加し需用必須の趨勢を示しつゝあるに拘はらず曾て茶業經營の利害得失を考究し之を興隆せむと畫策する者あるなく之が爲に年々茶の代償として拾餘萬圓を内地茶業者に支拂はざるを得ざる不利の地位に立たざるを得ず之れ當に一個人の經濟上は兎も角も朝鮮全體の經濟上より見て甚だ不得策のことと云はざるべからず

■予は此の見地よりして茲に茶業奬勵の必要を提唱し世の同感者と共に朝鮮に於ける茶業興隆を策せむと欲するなり

■吾人の生存上日常の需用品として茶は今日以上其の需用量を増すべき傾向は之れあるも決して其の分量を減ずべき兆候なきものなり今其の需用を増加すべき要目を列擧すれば

■(一)茶は吾人日常の飲料として嗜好品の一たり是は各人の實驗上食物の消化を助くると云ふ醫學上の說と並て吾人の嗜好を促すものなり先づ支那に在りては唐朝の時代に有名なる陸羽(字は鴻漸)ありて茶經三卷を著はし茶の性質効用を說きて世人に知らしめたり今茲に茶經の價値を紹介するに當り古人が本書に對して批評せる言を借り之を言ひ現はすを便宜なりとす曰く『古來茶に善きもの陸羽を以て首めとす茶事を云ふの書亦此の書を以て首と爲す、凡そ十類に分ち茶の源、茶の法等甚だ備はる云々』とあり

■又宋朝の時代に在りては蔡襄(字は君謨)ありて茶錄二卷を著はし以て時機相應の教訓を垂れ且つ茶業を奬勵する栞とせり、我が日本に在りては壽永建久の間當代に傑出せる禪僧榮西禪師ありて入宋歸朝後茶の植付と其の蕃殖に貢獻せしのみならず其の晩年に及びて喫茶養生記上下二卷を著はし茶の効能を世上に傳唱せり今其の序文を譯して掲ぐれば左の如し

■『茶は養生の仙藥なり延齡の妙術なり山谷之を生ずれば其の地神靈なり人倫之を採れば其の人長命なり天竺唐土同じく之を貴重す、我朝日本曾て嗜愛す、古今奇特の仙藥なり摘まずんばあるべからず。謂らく劫初の人は天人と同じ、今の人は漸く下り漸く弱く四大五藏朽の如く、然るは針灸並に傷び湯治亦應せざるか若し此の如くの治方は漸く弱く漸く竭く恃れずむばあるべからず。昔しの醫方添削せずして今の人を治するは斟酌寡きものか。伏て惟れば天萬像を造るにも人を造て以て貴しと爲す、人一期を保ち命を守るを以て賢と爲すなり。其の一期を保つの源は養生に在り其の養生の術を示さば五藏を安むずべし五藏の中に心の藏を王と爲るをや。心の藏を建立するの方は茶を喫する是妙術なり。厥の心の藏弱きときは五藏皆病を生ず。寔に印土の耆婆往て二千餘年、末世の血脈誰か診せむや。漢家の神農隱れて三千餘歲近代の藥味誰か理せむや。然るときは病を詢ふに人なし。徒らに患ひ徒らに危し、治方を請ふに憚りあり。空しく灸し空しく損す。偸かに聞く今世の醫術は則ち藥を含て而して心地を損す病と藥と乖くが故なり。灸を帶て而して身命を夭す脈と灸と戰ふが故なり。如かず大國の風を訪ふて近代の治方を示さむには。仍て二門を立て末世の病相を示し留て後昆に貽し共に群生を利せむ矣。時に建保二年甲戌の春正月日、入唐前權僧正法印大和尚位榮西『謹で叙す』とあり以て著者が喫茶の効能を如何に解說傳唱せしやを窺知るに足る。

袖珍

府及學校組合法規提要

宇佐美内務部長閣下題字
小原地方局長閣下序文
京城日報社編纂

内容
勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制、府及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に添附したる例規の如きは最近七月に發布せるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より内地人各學校組合議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也

裝幀
携帶に便ならしめん爲め製本を袖珍とし紙數は三百餘頁總洋布天金製本文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せんが爲め每頁の上部約一寸五分を餘白とし更に卷末に十數頁の白紙を綴込みて備忘備に供したるが如き本書が編纂上に於ける用意の一端を窺ふに足る

▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔

大賣捌元 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇番

大正六年一月一日現在(三月七日製本出來)

朝鮮總督府許可

鑛區一覽

附、鑛業權者住所錄、朝鮮鑛産地一覽

菊判全一冊 實價金六十錢 郵稅金六錢

速かに!市内の諸君は電話を!地方の諸君は振替を利用して!!!

□本書は一千部を限り增刷せず
□豫約申込者既に多數あり
□申込は最も急速を要す

發行所 京城府北米倉町一四二 青郎書房 振替京城三二七番

發賣所 京城本町一丁目 大阪屋號 電話二八〇・八六〇番
京城本町二丁目 日韓書房 電話一四五番
京城本町二丁目 巖松堂 電話一一六番

古河合名會社京城出張所
鉛板 鉛管
果樹煙草病害驅除用丹礬
京城南大門通二丁目一二五 電話長五八九番

◎支那加入大勢定まる
加入を拒まんか自立の途なけん

支那の對獨斷交及び協商國側加入は今後特別の事變發生せざる限り最早や動かす可からず之れ支那が對獨斷交及び協商國側加入に就て希望條件を遂し得るのみならず協商國側より財政上の援助を受くることを得べきを以てなり尙馮國璋氏は江蘇省長齊耀琳氏に電報を發し此の場合協商國側に加入するより外に自立の途なし若し加入せざれば大陸道を鎖り希臘と同樣の運命に陷るべく、されば加入を發表し參戰すべき事となるも人民は決して輕卒なる行動に出づ可らず諸團體も亦之に對し異議ある筈なしと言へり(上海特電)

◎英軍益前進 獨軍退却

アンクル河の北部を起點としてソンム河に達せる英軍は全くとして前進し獨軍は多數の村落及び堅固なる陣地を拋棄して退却中なり英軍の行動斯くの如く强硬にして且つ成功せる爲め獨逸公報は最近退却行爲に關しも報道する所なし(倫敦電報)

◎露軍ハマダンを占領す

露軍は波斯のハマダンを占領したり(參謀電報)

◎眞木男爵薨去

宮中顧問官海軍中將男爵眞木長義氏は胃潰瘍に肺炎を併發し三日薨去したり(東京特電)

◎各種事業計畫
準備調査進捗中

內地金融市場に於ける資金充實及び事業勃興の影響を受け朝鮮に於ても漸やく

▲事業熱勃興の兆 あるは遞報の如くにして最近に許可を得たるものに平壤の小野田セメント計業製糖會社、仁川のマッチ會社、龍山製粉會社等ありたるが更に昨今起業計畫に關する準備調査中に在るものにして重なるものを聞くに京城に於ける刷毛製造會社、製絲工場、染物會社及び臨津江の水力を利用する水力電氣會社等あり上記事業計畫者の氏名は進捗上の支障を生ずべきやを慮り之を保留し置くべきも製絲工場は或は個人經營を以て開始せらるゝに至る模樣なり而して此等の事業は大部分

▲朝鮮產の原料 を用ひ低廉なる朝鮮人の勞力を使用せんとするの計畫にして刷毛會社は牛骨及び豚毛の利用を以て計畫の眼目とし目下牛骨の低廉にして豐富なるは明白なる事實なるも豚毛が果して原料として充分なるや否やを調査中にあるものゝ如し次に製絲工場は近年朝鮮產繭が既に相當の額に達し居るに拘らず仲買人の手を經て繭の儘移出され更に紬絲となりて再移入の結果を呈しつゝある狀に鑑み朝鮮產繭を盡く京城に集めて之に加工し朝鮮に於ける需要に應ずると同時に

▲露領方面に向て 其販路を擴張せんとする計畫なり又染物會社は朝鮮に移住せる內地人現に三十萬を算するに到り綿布染色上の需要年々多額に上るに拘らず特別精巧なる技術を要せざる染物類迄も態々之を內地に送りて其要求を果すの不便不利あるを以て稍々大規模の工場を設立し日常一般向きの需要に應ぜんとする計畫なりと終りに朝鮮に於ける水力電氣の計畫の如きは之を耳にすること既に久しく一般事業家も低廉なる動力の供給を渴望しつゝある際なるを以て若し臨津江水力電氣計畫にして成功するに於ては獨り京城附近に於けるのみならず

▲事業家の利益 のみに止らず各地方にも之に倣ひて水力電氣計畫を見るに至るべく其影響する所は朝鮮事業界の全般に亙りて甚大なるものあるべしと

◎北鮮牛の減少

咸北牛の聲價は夙に世に知られ居る所にして道廳にては之が增殖に就て極力獎勵しつゝあり昨春來は牛皮の騰貴と牛價の昂騰とに因り放資及び屠殺者續出し著しく其數を減ずるが殊に牝牛の屠殺數は牡牛に比し約四割も多きより生產率の如きも漸次減退し頗る憂慮すべき現象を呈しつゝあるが今大正五年中北道屠殺數を見るに牡三千九百九頭牝六千百六十頭計一萬六十九頭にして之を大正四年の一萬二千頭に比すれば千九百三十一頭の減少にして輸移出數に於ても四年の一萬二千頭に比し國境輸出九千三百九十六頭內地移出四百七十五頭計九千八百七十四頭即ち二千百二十六頭の減少を來せり生產率は四年に於て一萬七千頭を算せるが五年は目下不詳なるも種々の事情を綜合して四年より增加する事なければ大正三年總數九萬七千頭なりし畜牛は四年末に於て九萬四千頭に減少し五年末に至つて八萬千五十七頭に激減する事となれるを以て今後內地に向け生牛移出を開始するに至らば一層減少すべく自然牛價の騰貴を見るに至るべきが本道にては極力繁殖法を講じ預託牛保護牛等の制度を設け飼養方を鮮人に獎勵すると共に牡牛屠殺を禁じ牝牛の保護を計るべく考案中の由なるが現狀の儘數年を推移せんか名譽ある咸北牛も遂に救ふべからざる狀態に陷らんも知るべからず(清津)

◎鮮鐵荷動概況(元山)

▲大豆 各驛に於ける本品の停滯は依然多數を算し加ふるに內地に於ける味噌醬油釀造用の需要期に入りたれども發送制限により荷動阻止せられ一日平均三百噸弱の出荷を維持せり而して其大部分は內地移出にして鮮內發著は總數の二割五分を占むるに過ぎず ▲雜穀 內地移出は大豆に於けるが如く發送制限のため安東發鬪門著小豆六十三噸を出荷したるに過ぎずと雖も鮮內發著の小麥、粟、黍等は相當取引行はれ出荷數千三噸を算せり前月下旬以來北支那滿洲粟の輸入漸次增加し本旬を見るに至りしが旬に於ては四平街發木浦著百三十五噸、遼陽發元山著百八噸計二百四十三噸に達せり ▲黑鉛 齋藤來永興發元山著內地移出黑鉛の輸送杜絶せしにより出荷數頓に減退し正月以來每旬百噸乃至二百噸臺の出荷に過ぎざりしが本旬に入りては稍好況を呈し總數三百二十六噸を出荷せり而して其大半は[illegible]草梁著にして他は新安州、沙里院、京城、大田、[illegible]に仕向けらるゝものとす ▲氷 前旬に於ては四百七十四噸の出荷ありしが其後漸次減退して前旬に於ては僅々二百二十七噸を出荷したるに過ぎず而して之を前年同期に比する時は實に千七百三十六噸の減少を示せり[illegible]要之本旬の貨物運輸は昨冬來の滯貨未だ全く一掃されざると一般經濟界の好況とにより依然として荷動盛なりしにより氣象の關係に依る氷の減退せるものを除き之は各品概ね著しき增加を示せしを以て收入は良好にして豫期以上の成績を擧ぐるを得たり

◎日本海橫斷航路の新計畫
北鮮と敦賀間……一箇月三回定期に航行す……北鮮貿易會社の事業

最近淸津城津元山等北鮮に於ける實業家と裏日本の敦賀を主とする實業家との間に資本金二十萬圓の

▲北鮮貿易 株式會社設立計畫を進捗し岡本常二郎氏は右の用件を帶び久しく內地各方面を旅行中なりしが數日前京城經由にて歸任せり其の談に曰く從來日本海橫斷航路の必要は內鮮兩地間に一再ならず唱道せられしも其の未だ實現するに至らざるは採算不可能に基因すと云ひ得べし故に今回予等の計畫せる北鮮貿易會社は北朝鮮需要の日用諸雜貨等を內地より引き而して日本海橫斷航路の經營を可能ならしむるに就き相當の苦心を要したり會社は本社を敦賀に置くべく資本金二十萬圓中四分の三は敦賀橫濱等の實業家に又四分の一を淸津城津元山を中心とする北鮮に於て引受くる筈なるが

▲主要事業 は(一)一個月一千噸內外の生牛を北鮮より敦賀に輸送する爲(二)久原甲山銅山の粗銅を當陸に運ぶる月額數千噸の輸送を交涉の上引受くる事(三)北鮮產穀を內地に移出する事(四)名古屋以東より北鮮に仕向くる諸商品を成るべく會社の航路にて輸送するやう努力する事(五)久原銅山需要物資の輸送を交涉の上內地より城津に輸送する事等にして航路就航船舶は一千噸級船一隻を以て一箇月三回定期に敦賀元山城津淸津間の航行に宛しめんとす而して廉價に旅客便乘の爲めにも應ずべし而して會社の大株主は敦賀の生牛商を主とし其の一箇月輸送の責任數を決定し又北鮮に於ける生牛の買出しには相當便宜を受くべき立場にあるに付之等の點は充分好都合に經營して行くべき豫定なり何ほ北鮮牛は昨今騰貴し居れど一頭五十圓を投せば之を購買するに困難なかるべく一頭の運賃十七八圓を要し敦賀に揚陸して約七十圓となるも內地最近の生牛相場より見れば二三十圓の利益は內輪の見積りなり乃ち

▲一千噸級船 の傭船料月額一萬五千圓は生牛輸送收入にて之れを支辨し其他生牛の利益諸雜貨等の運賃を利益として計上し會社の經營は頗る有利に進行すべし尤も細目の點に至りては日本海の橫斷てう航運は頗る心細き譯なれば此の計畫中には又數步を進めて相當の噸數を有する汽船の就航を見るに至るべきか云々

◎國境支那商衰退

[illegible]在住の支那人は現在二十七戶九十六人あり、飲食店、行商、雜貨商等を營み居れるが何れも山東省生れにして今より數年前維新の初め紹介せらるゝに及び漸次雜業に從事し勉勵熱心に努力して一時內地商人を凌ぐの勢なりし當時朝鮮人は官憲の指導を受けつゝあるに拘らず財を得れば從て散じ財盡れば去るの觀ありて商權は勿論勞働者の利益をも鮮人は支那人の手に掌握され隨つて生活上困難を訴へ商況不振の狀態にありしも新政以來地方官憲の總督施政方針に遵ひ鮮人の指導に努めし結果漸次頹勢を挽回し大正元年に至り形勢一變して商業大いに振興し鮮人の商家現時三十二戶に增加し而も中五戶の雜貨商店は支那人に拮抗し支那商取引を爲し漸次支那人の商取引上第一位を占むる商店に非常の影響を及ぼしたれば支那商店の如きは形勢の不利を察し他に引揚ぐるに至り其他の支那商店も萌鮮人に壓倒され又た昔日の勢ひなく漸く餘喘を保ち居るの有樣なり(淸津)

◎白水少將出發

驛港灣課長白水少將は豆滿江沿岸狀況視察のため古城副官を隨へ四日午前九時四十分龍山發列車にて北鮮行の途に上れり約三週間の豫定にて其の歸任は下旬なるべし

◎仁川米穀在庫高

仁川穀物協會調査に依る二月末日米穀類在庫數を聞くに二月中は內地安の爲め輸移出捗々しからず月末に至り淸津地方よりの廻著年始以來始めての多額を見る爲め[illegible]に於て當地の出荷を見たるも結局月央現在に比し數量に於ては約一萬叺の增加となりたり之れを內譯すれば玄米七千石增白米二千石增小豆千三百叺減等を主とし其の數量は玄米十七萬九千九百八十一叺白米一萬二千四百十二叺大豆四萬三千六十七叺小豆六千六百五十九叺小麥一萬三千五百五十三叺籾二千[illegible]叺粟麥七十五叺糯粿米千四百九十叺糯米三百二十叺なりと(仁川)

安東より一筆
中島生

支那一巡の途中先は無事二日午前京城より撥出したる次第にて安東より先は前途山もあれば河もあり、過眠驛日を期して支那の有樣や如何に。京城で上りと申す予が出るまでの行程は、其詳細は後とするも、其日々の日誌は短信として御送り申すべく候也。

大正六年三月二日夜八時安東驛待合室に於て

◎鐵道救濟組合狀況

大正六年一月中鐵道局救濟組合收支狀況左の如し

(收入)

政府給與金	三,四九五・八三
組合員掛金	四,九二七・九六
計	八,四二三・七九

(出)

[illegible]救濟金	四人	[illegible]
[illegible]救濟金	三人	[illegible]
[illegible]救濟金	八人	[illegible]
[illegible]救濟金	六人	[illegible]
計	二一人	二,一三[illegible]

□小金井觀梅
青山閑容

二月廿五日、家を携へ、小金井に梅見に赴く。念の爲めに再言す、櫻にあらず梅也。但だ小金井の梅は櫻に比すれば九牛の一毛のみ。然も亦た見る可きもののなきにあらず。梅園は國分寺驛より、小金井の櫻堤に通ずる、喜平橋畔にあり。樹下客なく、紅梅は、一枝上花多し。予小金井の野趣を愛す、單り櫻花の爲めならず。春秋數回、必らず遊ぶ。其の遊ぶや、信濃町停車場より。昨復た然り、然も豫定の汽車は、驀然待ち受けたる吾人を突過して去れり。蓋し從來停車したるもの、今や停車せざる也。予等は倉皇、乃ち電車に乘じて、之を追跡し、新宿に於て、幸くも之に追及す、其間實に一髮。予は一日も速かに、電車を國分寺驛迄延長せんことを望む。果して然らば、東京市民の健康は、現時に倍し、其の生活上の便宜と安慰とは、更に多大なるものあらむ。總て乘除して、僅一の苦情は、唯だ交通の不便のみ。觀、良久うして小金井園に小憩し、芋頭、甘藷を快喫し、南軒に臆を負ひ、恍然假睡す、羅浮の女神夢に入らざるも、一刻の假睡千金も啻ならざりし也。睡眠撥し來れば富嶽は眼界盡きる所に君臨し、武藏の原野、拱立、縹渺の裡にあり、鎭守社の、大逵く雲長く、唯だ雜木林や、點在するを見るのみ。大海の島嶼の如く、野趣の眞味、實に此間に看取せらる。起て櫻堤を徘徊すれば、玉川上水の碧流、玉よりも淨し。予恒に云ふ、武藏野を鐵化するもの、一を富士山となし、二を玉川となす。此二要素ありて、武藏野の野趣をして、更らに一種の神韻を帶び來らしむ。歸途予は梅花を肩にし、同行者は國分寺の古瓦を肩にす。而して一家兒女、各々携ふる所あり、復た各々其の樂しむ所を樂しむのみ。

◎仁川府納稅注意

仁川府廳にては各年以來宮町消防詰所內に府金庫を派出し事務を取扱はしめ來りたるも鐵道線路以北の納稅人は徃々二十丁以上の距離あるを以て此の不便を補はんが爲め道廳と協議の上牛角里五番地及び花平里五十九番地に金庫派出所を設け每月廿五日の納期日に限り府金庫を出張せしめ本月より事務を取扱はしむるとの事なれば納稅人は最寄派出所に就き必ず指定納期日に納付せられたしとの事なり(仁川)

◎池田長官母堂の訃

東京芝區白金猿町二七の自邸に痼疾の食道癌を疾み療養中なりし池田遞信局長官母堂花子刀自は藥石無効去る三日長逝されしが行年七十七歲葬儀は來る八日執行の都合なる由

人事消息

▲松岡由雄氏(北海道廳事務官)四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲楠原建氏(鮮銀長春支店長)四日朝朝鮮ホテルより旭町二丁目大江了氏方へ移轉
▲[illegible]氏([illegible])四日朝退京

南言北語

今年は宇治黃檗山萬福寺開祖隱元禪師の二百五十回忌に當るので同山では陽春四月を期し遠忌法要を營む筈である▲其處で來る七日諡號宣下の御沙汰を下し賜はる事になつたので當日は向島なる萬福寺に關東の檀信徒を召集して諡號拜受の一大法要を修する筈である▲隱元禪師は支那福州の生れで承應年間將軍の請に應じて本邦に渡來して萬福寺を創建した學德法力共に秀でた傑僧であつたが明の輸入僧といふので生前には我宮中に參入するを憚かつたが後水尾天皇の御歸依深く生前大光普照國師の號を下し賜り次で明治天皇より『眞空』といよ〳〵勅額をさへ賜はつた▲世に隱元豆は同禪師が彼國より齎した物であると傳へられて居る▲印度では色の黑い男が持てると云ふことゝなつて居るが實際は非白、非黑、勿論消費頻で胸は獅子の如く足は鹿の如しと云ふのが好男子の典型としてある相な▲其れから印度人との取引に日本の商人が兎角不信用で見本と質物とを時々違へるので困るとの事である▲或日本商人が見本の種類をアルハベット順に並べて置いた處が或印度人が其の中のアイの見本を註文した▲處が到着した見本を見るとキユーの品物だつたから印度人は非常に立腹して抗議を申込んだ▲すると日本人の商人の言葉が面白い日本ではアイとキユーとは同じに使つて居るとやつたので印度商人もキユーの音も出さなかつた相だ▲此の樣な事が判つて來ると益々不信用になるとは某印度通の談▲獨逸のポーゼンでは此程盛な國會を開いてヒンデンブルグ博物館と云ふものを創立し▲而して同將軍の記念品ならば破れた軍帽でも折れたサーベルでも何でも陳列すると云ふチラシを配布して只管全國の士氣を煽つて居る相な▲何處にも拔目のないのは獨逸だ之れだから何時も勝ち身に居る

◎大冶鑛山會社

長張季直氏は解職後に於ける熱心[illegible]旁路を經るより北京上海に奔走し[illegible]主張に淵源するものにして昨秋[illegible]て各省有力の實業家に說き合辦經營[illegible]

▲資本金確定 額尾大にして小資本を以ては到底望み無ければ基金六百[illegible]那人に限り外債に依らざる方針なるが目下株式募集規則の編成中にて[illegible]を大冶に派し工廠其他の建築に著手[illegible]蘭聯煦等四人に擔任せしめ別に技師[illegible]卦爐一座を据え付け砂鐵を[illegible]く煉鐵を開始し尙ほ堀內には[illegible]

◎氷滑りで溺死

全南務安郡望雲面牧西里の李文伯の三女李順三(一二)は[illegible]く遂に溺死せり

◎暴風警報

(三月四日午後[illegible] 仁川測候所)[illegible]

生活 三月號 (定價二十錢 郵稅一錢五厘)
▲現代南洲家の第一人[illegible] ▲すまじきものは郊外生活 ▲在米日本人鐵道工夫と持金の使途 ▲選擧干涉の思ひ出……杉田定一 ▲政治小說…黒影(第三回)……無名氏 ▲靜座以上の坐禪……[illegible]
特別記事 春の旅をするなら田山花袋
原敬六十年(寫眞入)莫愁生
▲飲んだ珈琲は何うなる……日高中佐 ▲潜水艇最近の威力 ▲帝劇の女優の人氣凋落……生田葵 ▲八年間未決監に居る男……[illegible] ▲死人と自由に對話し得る[illegible] ▲女の勞働から招く幼兒の死亡增加
東京 博文館

京都 同志社學生募集
同志社大學 政治、經濟部◎英文科◎神學部
▲各豫科生ヲ募集ス入學志願者ハ四月五日迄ニ申込ム可シ
▲英文科卒業生ハ英語科中等教員無試驗檢定ヲ受クル事ヲ得
同志社中學 一年級百四十名募集二、三、四年級補缺若干名
▲徵兵猶豫上級學校ヘ入學連絡其他ノ特典中學校ニ同ジ
▲申込期限一年級四月九日限◎二、三、四年級三月廿八日限
▲規則入用ハ郵券二錢ヲ要ス
京都市上京區 同志社

婦人公論
我國唯一の高級婦人雜誌三月號の壯觀
◎日酒の善し惡しを見分る法……豐島屋 ◎小說 春宵記……小山內薰 ◎雛もの語り……笹川臨風 ◎蹂躙られて……正宗白鳥 ◎今の景氣は何時迄續くか……志村ドクトル・久保中學教諭・堀江博士 ◎猫背をお直しなさい ◎齒を美しくする法 ◎肺病に罹り易い女……高田醫學博士 ◎新劇一幕 嫉妬……中村吉藏 ◎啞の王妃……鈴木三重吉 ◎三人の愛兒を殺して自殺した妻の遺書 ◎趣味の算術(知らぬ間に覺わる)……中村英國八郎 ◎テームス河の私語……坪內士行 ◎總選擧に際して我邦婦人に望む(一)總選擧と婦人 石川半山 (二)婦人と政治運動 與謝野晶子 ◎家庭科學 煮炊の話……近藤教授 ◎出しやばる女論……三宅博士 ◎乳兒の保護……永井醫學博士 ◎口繪 現代女風俗
定價金三十錢 郵稅一錢半
東京市本郷區西片町十番地 中央公論社

營養成
文身榮達の礎實なるは醫官なり◎內地、臺灣、朝鮮、樺太、滿洲及外國にて就職するを得べく[illegible]えず募集す◎本會講義錄を修得すれば試驗に合格し確實なり◎會長顧問講師は醫藥界の專門大家にして[illegible]
會則郵券二錢送れ 東京芝公園 營成協會

京染呉服悉皆部開始
染工場京都岩上通り四條北へ入
城米清輔
山城宇治產地出張 宇治屋藥舗
京城明治町 電話長四一二番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院
電話 [illegible]

◇中學の入學試驗（一）番號を受取りに＝入學試驗をうける少年達は京城の人が大部分を占め地方の人はお父さんや小父さんに伴れられて入京しました、試驗は今番號表を貰つてゐるところです試驗中は自分の名前を記さずすべて此の番號で答案を出します

朝鮮紙が露國へドシ〳〵出る

■紙質と形狀を一定したい■

朝鮮紙は其の質甚だ强靭である處から昔から日本及び支那に輸出せられて居つたが單に古來の慣はしに由つて製造して居るばかりで少しも

■進步改良の跡 が見られぬばかりでなく或は幾分づゝ粗惡に成つてゆく傾向さへ見ゐるが然し原料にして居る楮が優良である爲め紙質の强靭なる事は他の製紙の企て及ばざる處である朝鮮紙も昨年大村書記長が露領北滿洲各地に見本として配布して置いたが其の當時は

■朝鮮紙の用途 を殆ど發見し得なかつた處今回莫斯科地方で朝鮮紙の如き强靭なる紙の需用が大いに起つたとの事で朝鮮紙の製造力及び主なる製紙場價格等の問合せが商業會議所宛に來て居るが今の處朝鮮紙は殆ど農家の副業として僅かばかり宛製造されて居るのだから勿論

■大口の注文を 引受けて外國輸出を爲すといふ事は覺束ない最も現今でも支那方面に年々十萬圓內外の輸出はあるが之れはいろ〳〵の支那商人の手で買集められて一定の期限なしに輸出されるものである

■其他の外國へ 輸出するには紙質、紙形を一定しなければ成らぬが之れが現今の狀態にあつては甚だ困難の事である紙質なども或地方では自然生の楮を用ひ或る地方では栽培した材料を使用すると云ふ風ばかりでなく近來は

■材料の高騰と 共に紙型を小さくするので仲買人側が重量を以て取引を行ふ習慣になつたので一方製造者の方では紙の中に粘土を混入する者が尠くない斯んな風に紙質もなく朝鮮紙は雜に由つて其の形の大小が異つて居ると云ふ有樣だから之れは當局の力か又は

■組合でも組織 して其の規約の下に一定の紙質と形狀を同一にし相當の機關を設けて一手に輸出の能きる樣にしたならば將來重要なる輸出品の一つとなるであらうとの事である、猶大邱で製造されるパナマ帽子なども非常に

■露國人の嗜好 に投じて居るが其の價格の不廉である事と纏つた製造力の無いのは甚だ惜しい事である猶ソングル製旅行鞄なども昨年哈爾賓から注文を受けて來たが京城では製造する事が能きぬと云ふので更に大阪へ注文して居ると云ふ有樣であるまだ此の外にも注意して見ると興すべき有利の貿易品は尠くあるまいとの事である

決してなか〳〵いゝ商賣ではございません

某置屋主人の話

‖線香値上問題と置屋‖

京城で藝妓を抱ゐてゐる置屋料理屋の數を擧げると三十二三軒ある、此の內で置屋乃至料理店主そのものが金を出して藝妓を抱ゐ入れてゐると云ふやうなのは二三の一流料理店は除いて

■置屋に至つては全く數へるばかりしか無い一人平均千圓の藝妓を抱ゐてゐる所には必らずその抱ゐ入れ資金に仰いだ五千圓の借財がある、然かも月二分五厘乃至三分といふやうな高步の金を借てゐるのが多い、乃で置屋の中で比較的手閤くやつてる者に其處の帳擬のいろ〳〵の控帳を繰り擴げさせて打明話をきいて見ると

■固より値上げを眼前に控ゐてゐる事だから相當哀れつぽい話になるのは承知しながら―『實は外樣から御覽になると餘程ボロイ儲けをしてゐるやうに見ゐますが、私共ではお耻かしい話ながら三分の利子を拂つて妓供を抱ゐてゐますが、まあ假に一人千圓にして五人の五千圓としまして

■一人の妓が月に何の位稼いで吳るかと言ひますと賣れない妓もあり賣れる妓もありますから一人百三十本位にしか當りません、一本七十錢ですから九十一圓になります、その中から料理に二割、券番に五分の手數料十七圓五十錢を天引されると七十三圓五十錢となり

■此の內から利子の三十圓に營業用稅の五圓を引いて三十八圓五十錢になります是丈は何んとしても線香の所得の內から割かねばならぬものですが、此の三十八圓五十錢の所得の外に却々多くの出費を要するのですそれは衣裳自前と言つて抱ゐる時に金は多く出す代りに衣裳は藝妓持ちといふ契約をした者には要りませぬが半自前と言ふのには

■衣裳を著せて行かねばならぬ之が月に十圓はかゝりますし食料も負擔せねばならぬ、又丸抱ゐになると抱ゐ入れの時は賑い代りに衣食住の費用一切は勿論自分の娘同樣に小使錢から色々の交際費まで出して遣らねばならぬ、是等は何れも病氣に限らずすべて休業しても五日までは默認せねばならぬ

■こんな事を申すと際限がありませぬが彼是算へて來ますと實に純益といふのは僅かしかありませぬ、その內から自分達も喰べて行き家賃電話料、稅金は勿論諸附合も人氣稼業だけに相當にやつて行かねばならず、愚痴になりますが決して樂な商賣じやありませんよ、所で此の苦しい中から

■漸う息を吐いてゆく事が出來るのは側面に藉せる事は出來ませんが所謂臨時特別收入ともいふものでせう、然かし之れが何時入つて來るのやら賴りない收入ですし、その收入を强ひるわけにも行きませんから綸を垂れて魚でも釣るやうに氣長に待つより外はないのですこんな苦しみは置屋をしてゐる程の者は皆經驗してゐるのですから

■今度の値上げ問題 なども持ち出されたのですが、値上をしても藝者の抱ゐ入資金が增すといふわけでもないのですが、高くなつてゐますから別段利益が增すといふわけでもないのですが、きうかと言つて現狀のまゝでは營業を續ける事が出來ない有樣なので餘儀なくこういふ問題を持ち出すやうになりましたのです

◇紀念日と平壤聯隊

來る三月十日は日露戰役の陸軍記念日なれば平壤步兵第七十七聯隊にては將校集會所に於て當日旅團司令部合同の一大祝宴を催すべく平壤在住官民有志數十名に對し山川旅團長より夫々案內狀を發したり因に當日は式後戰役に關し旅團長の講演あるべしと

◇中學の入學試驗（二）[illegible]

救護會の事業

◇出獄人は何うして職を求めるか

一時保護者は一旦收容所に收容して救護會の仕事、保護の趣旨等を說示し衣類旅費を給與又は貸與するのであるが會の方針としては成るべく貸與方針を採つてゐる、一時保護者は歸鄕に歸つて貸與された物品は即時返納に

◇月賦の方法 で何れも返濟して居る昨年中取扱つた貸與人員が八十名其の金額百四十八圓五厘で旅費及び衣類の貸與をなしたものが百六名此價格が百八十三圓に達してゐる、而して其の貸與したもの內歸鄕後返送して來たものが九割三分及給與したものを返送して來たものが六割强に達してゐる、中に江原道の女で殺人被告事件で捨擲され公判の結果無罪となつた者が一名あつた、是は

◇朝鮮の舊習 から一度殺人などの大罪を犯した嫌疑を受けた者は鄕里に歸る面目が無いのみならず鄕里に歸ると如何なる危害が身に及ぶやも計り難いので件の女は收容所員の肝煎りで用務所內の或る男と結婚させてやつた實例もある、昨年中取扱つた一時保護者中現在住所の判明してゐるのは次の通りである

京畿六五▲江原二〇▲忠北一三▲咸北六▲忠南一一▲咸南八▲全北一一▲黃海一二▲全南一〇▲內地一▲慶南一八▲支那一▲慶北三〇▲不明三

次に繼續保護者中前年から引續いて收容されてゐる者が三十九名あつたが其後收容所から出たものや就職したものがあり現在は內地人一名朝鮮人二十四名合計二十五名となつてゐる、昨年中收容した繼續保護者の事由を類別すれば次の通りである

事由	內地人	鮮人	合計
親族故舊無き者	三	四〇	四三
同上不明の者	〇	二七	二七
家庭親族と不和の者	一	一一	一二
疾病治療の爲め	〇	二	二
職業を失ひたる者	二	六	八
計	六	八六	九二

前記を年齡別に調べて見れば

年齡	內地人	鮮人	計
十八年未滿	二	一三	一五
二十年同	一	一	二
三十年同	二	三五	三七
四十年同	二	一七	一九
五十年同	〇	一一	一一
五十年以上	〇	八	八

更に繼續保護者に實する成績は次の通りである

結果事由	內地人	鮮人	計
親族故舊其他監督者に引渡したる者	七	五七	六四
自活の爲め退所したるもの	一	六	七
任意退所したるもの	二	二二	二四
逃亡したるもの	一	三〇	三一
出所を命じたるもの			
又犯罪を爲したるもの		三四	三四

以上自活の爲め出所したるもの及び監督者に引渡したるもの何れも善良なる生活を營みつゝあり任意退所者の中には二樣の別あり一は會の羈束を快しとせざる者と他は就職の

◇便宜上退去 したものとであるが脫會後の成績は今日迄確然と判明してゐないが悉く邪道に踏入つたものばかりではない、偶逃亡した者及び不正行爲の爲め退場を命じた者が收容中に犯罪を犯したものは論外として全收容者中先づ七八分は好果を示してゐる（續く）

土と砂で消防

▽仁川松林里の火事

仁川松林里八十八[illegible]太郎方竈の焚口より三日午後五時三十分失火しだるを以て各消防詰所員現場に馳けつけ消防に從事せしも同地は水利極めて不便なりしかば土砂を以て消防に從事し三十分の後鎭火せしめたるが損害程度は僅少なりき（仁川）

牛賣り二名を殺害す

三月二日午後五時頃平南大同郡斧山面凡砂里路上に於て同郡南宮里農金閣洙の二人は强盜の爲めに朝鮮刀を以て殺害され所持の金品全部を强奪されたるが被害者兩名は三月一日江東郡各人場に牛を賣りに出で歸途犯人は各人場附近より被害者の後を追跡し來りたるものにて所轄憲兵隊警察署に於ては直ちに非常巡查の非常召集を行ひ非常線を張り逮捕に努め居れり（平壤）

賭博から格鬪

高陽郡漢芝面花井里李昌成（三十）李福成（二十）金大福（五十）は二月十六日同里某方にて賭博をなし其の勝敗より大福の所持金…李福成大福の兩名は格鬪を始め大福が福成に六箇所の擦過傷を負はせたるより福成は有合はせたる木片にて大福の前額部を毆き治療十日を要する創傷を負はせ三名共一山里憲兵派遣所に引致さる

淸津江の解氷

頭川の暖氣に依り結氷中の咸北淸津江は一部解氷し渡船を開始するに至りしが渡船場以外は尙薄氷ありて危險なるより一般の通行を禁止し居れりと

河豚の中毒

鎭南浦三和町花山座居住森田梅吉（三十）は三月二日外四名と共に櫻町魚商伊勢屋より買求め來りたる河豚一尾を料理し食ひたるに間も無く森田は腹痛を感じ桃澤病院にて醫師の治療を受けたるも遂に死亡したりと

棄兒を貰ふ

仁川外里十九番地朴召史方表門に三日夜朝鮮人男兒（三つ）が遺棄しあるを發見し屆出でたるを以て警官出張したるに朴召史は獨身者にて子供なきより自分の子として養ひたき旨申出でたるより同人に養育せしむる事とせり

初午祭

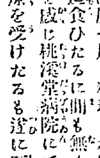
京城新町稻荷殿に於ては五日午前十時より初午祭典執行あり一般參詣者には供物及び福引の接待ある由

◎陸軍記念日と平壤中學 [illegible]

◎平壤高普と新入生 [illegible]

○平壤…理髮會 [illegible]

うわさのうわさ



▲紐育に行つてゐる鮮銀の佐藤得四郞氏から或る向への便りによると▲此頃では漸く紐育の生活に慣れ獨り步きが出來るやうになつた▲で、盛んに赤毛布式を發揮してゐるが、まだ幸ひに自動車に轢かれもしない▲唯或る日地下電車の戶に足を挾まれ、一寸ヂタバタしたが、結局會社から若干の賠償金を得たなどは過ちの功名と云つてよからうネツハヽ、▲米國は戰爭のため、黃金横溢物價の極に達してゐる▲儲ける事も夥しいらしいが、其の代り費ひ方も荒つぽい云々▲近く百箇日の追悼會をやらうと云ふ死んだ文豪漱石子に對する舊友小城勅任技師の追懐は一寸面白い▲漱石君は二松學舍時代よりの舊友で、僕の日本語の先生だつたよ…と▲註に曰く、小城氏は鹿兒島の人で其の土地の訛りが一寸當時の江戶で通じなかつた▲で漱石子が親切に生粹の東京辯を小城氏に敎へたものださうな

▲浪花館● 女流浪花節浪花[illegible]一行にて引つゞき開演中なるが[illegible]

▲壽館● 危險眼力術の天明成學士の妖術館[illegible]何れも當地には珍らしきもの、事とて相當客足あり

▲大正館● 傍興の英國人ハレーの[illegible]

▲黃金館● [illegible]

えんげ

廣告

生徒募集

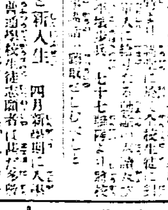
大正六年四月東京本校第一學年ニ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス詳細ハ當分校ニ照合スベシ

大正六年二月廿六日　京城大和町

東洋協會京城分校　植民專門學校

入學試驗科目　英語。數學。漢文

試驗時日及場所　三月廿九日當分校



六年春代價表進呈

山林用苗　果樹苗木　野菜種子　草花種子　花卉盆栽　農具肥料

平壤　內田百花園

種薯大々的販賣

一長崎產　赤馬鈴薯種

一同　甘藷元氣種

一同　赤目里芋種

但し生產馬鈴薯は海外輸出時期に至り數量何程にても引受申候

海陸物產問屋　仁川京町魚菜市場角　松永商店

治療實驗例說明書贈呈

登錄商標　オキシヘーラー　は如何なる疾病（急性病慢性病）も根本より治癒せしむる驚嘆器なり

賃貸料一週間二圓五十錢

京城府櫻井町一ノ五九（電二五三三）

オキシヘーラー代理店

京日案內

普通一回前金一番外一回前金一號一行ニ付　普通五十錢

▲申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入なさるべし

普通

◎古本熱心高價買入　御報參上　本町四　書肆群書堂　631

◎是非御試食を乞ふ　電話二七八一番　638

◎地方吳服店老舗讓渡し商品什器格安に讓る場所一等地（姓名在社）

番外

◎融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替　御報伺又は御來談　京城大和町三の三三（柄澤前）丸木屋　637

辨當　月極七圓五十錢より　御一食十五錢より　其他和洋料理仕出し迅速配達仕候　旭町二丁目メッヂスト教會横小路　とのまち　642

中古自轉車　格安品只今澤山持合あり　ツツキ自轉車店　南大門通り三丁目電話三一〇番　627

恩給年金立替　利子極安　短期無保險　即時取引　京城若草町一〇（金光教裏手）電話一三九一番　國江商會　636

恩給年金立替　一切千圓以上別契約　即時取引退隱料　京城櫻井町一元祖（大正館向）　博多屋本店　646

恩給年金長期立替　即時通　京城若草町通中央郵便ポスト前入　支店　京城永樂町一商品陳列館前　利子等如何樣にも御便利御相談仕候　西村商會　647

有給外務員採用　三十歲以上　午前來談　京城明治町二丁目四六　東京國債支部　645

新學期開講

會長　東京帝國大學教授　從四位文學博士　服部宇之吉

講師　文學博士　林泰輔　文學博士　宇野哲人　[illegible]北村澤吉　其他一流大家

漢文講義錄

會員大募集

會則進呈

東京神田區西小川町二ノ三　大日本漢文學會

花

兵庫縣西宮町　株式會社　大正園

蔬菜　種子

菊、朝顔、ダリヤ

目錄進呈

最新刊

◎電氣大辭典　上下卷索引共　入船勝治　特八、〇〇

◎船用機關問題詳解　藤田常　二、五〇

◎大日本人類の遺傳　山內繁雄　一、八〇

◎學術叢書　獅子吼　石川素童　一、三〇

◎大戰の審判　上原泰次郎　一、〇〇

◎ニイチエ集　人間的な餘りに人間的な　一、六〇

◎兜　獨　藤田進一郎譯　八五

◎大正六年國民年鑑　國民新聞編　五〇

◎朝鮮の金鑛　町田長作　一、〇〇

◎和歌講話　若山牧水　八〇

◎河竹默阿彌　河竹繁俊　一、六〇

◎家庭醫學叢書　十册　伊藤尙賢　一、五〇

◎東京の解剖　長谷川濤涯　六〇

◎トルストイ讀書問の力　中村吉藏譯　七〇

◎おいしくて手輕な料理と菓子の拵へ方　奥村繁次郎　六〇

◎古今英傑最後の悲慘　伊藤桃水　三五

◎日本名探偵手記　高橋雨渓　五〇

◎朝鮮諸官廳受驗者必讀　法律講義　坂上納吉　特七五

◎同　法律問答　同　四〇

京城本町一丁目　電話六六〇・一三六〇番　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

…工場設置せる…に及び…鎔じ同製鐵工場の設備は黄工商總…五等と…俵しその買受を交渉し…を得るに至れり　…四百萬として一般公衆より募集し…名稱を齊華有限司公と稱し株主は支…議決の結果同公司籌辦事務所を肯租界內に設け一切の事務を…の位置は前月…十五支里…て黃石港の下流に位せり故に該工場設置區域を廣濶にして充分なれば八…入炭は四千七百元なりと

怒濤の月

九十七 小林蹴月作 武內桂舟畫

慈悲?無慈悲?(十八)ノ三

『はての、お靜よ、汝がそんな寢言ふからには、先生さまが近い內に、何處か遠くへでも行かしやると云ふ下話でもあつての事かの?』

口には強い事を言つても、老婆は矢張、一日も永く娘を側に置きたいと願ふのであつた。

『いゝえ、然うではないんですがね萬一もの事があると不可ないから、お話の次手に聞いて置いたんです。』

『それならばはア、何の事ねえだよ汝でも居なくなつたら、義郎に早く嫁を貰はせて、俺は嫁の世話になるまでのこんだからの。』

『本統に阿兄さんも早くお嫁を貰つて下されば好う御座いますのにねえ妾見たよなものが有つた所で、今も言ふ通り萬一宿の人と一緒に外へでも出るやうになりますとね……阿母さん。』

『なに、先生さまと一緒に遠い國へでも行くやうになつたら、俺が嗚淋しからうと言ふだかよ。そりや、汝が言ふまでもねえこんだが、女と云ふものは、三界に家なしだと云ふからの。一旦他さんの許へお嫁にやつたからには、旦那殿の都合次第ぢやで、唐へ行かうと天竺へ行かうと、そりや仕方がねえ話と云ふもんでねえかの。』

『ほ、ほ、ほ、阿母さんが、然うした覺悟を爲て居て下されば、妾もこんなに安心な事はありませんわ。』

思ひなしか、斯う言つたお靜の聲の底には、あやしくも悲しき沈痛の顫へが帶んで居るやうであつた。

今方散歩から歸つて來て、背戸口の方から入りかけやうと爲た幸三郎の耳には、不圖老婆とお靜との、爐端の物語りに小耳を欹てたが、問題が什うやら自分の上にも關聯して居るらしいので、惡意ではないが、鳥渡立ち停つて、少時內の容子を窺つたのである。

母子は、無論然うとは知らない。一しきり爐話が途切つては、又消えさうにちよろ〳〵燃える榾火の焔に眸を凝せつ、何とはなしに話の糸を繰返した。

『義郎の嫁も嫁だがの、俺はそれよりか、一日も早く汝が赤兒でも生んで、初孫の顏を見せて吳れるのを、一生懸命待ちかねて居るだよ。』

『赤兒なんて阿母さん……』

お靜は、我知らず口まで出しかけたが、ハッと我に返つて、唇を袖に掩つた。

目はかすんでも、耳は確かな老婆は、忽ちそれを聞き咎むるやうに聲を尖らせながら言つた。

『嫁になつて赤兒の出來るのは、些とも不思議はねえではねえかよ。それやお靜よ、汝と先生さまとの仲には、赤兒なんかの出來る見込みがねえだと言ふのか?』

『あら、阿母さん、然う云ふ譯ぢやないんですけれども……』

お靜は、失敗つた事を口走つたと思つた。

『然う云ふ譯ぢやねえも有るもねえだよ。汝が今日此の頃の顏色と云ひ御飯も碌々喰べねえで、心配して居る容子から考へると、什うしても俺に合點のいかねえ事があるだよ。事に依つたら、お靜よ、汝と先生さまとは、まだ本統の夫婦になつちや居ねえのぢやねえかの?』

圖星を指されたので、お靜は、もう爐の中へ轉げ落ちてしまひたいほどに悲しさが增して來た。餘程思ひ切つて、『實は阿母さん、幸三郎さんが妾を嫌つてお在だと見えて、今以て夫婦の睦しさを見せて下さらないんですの』と、咽喉の邊まで出かけたのであるが、待て少時!此處が女の愼みとでもあらう。實を打明けて年老つた母や阿兄さんに餘計な心配苦勞をかけた上に、いとしの幸三郎さんと、變な事の行掛り上から、永い別れを見るやうでは、自分の爲めにも一家の爲めにも、是に上越す不幸はあるまい。辛抱の仕切れる丈は辛抱して居るのが、女の道と云ふものかも知れない!!お靜は、熱と齒を喰ひ締つて、嚥み込んで怺へた。

『阿母さん、彼のお優しい幸三郎さんに限つて、そんな事があるもんですか。取越苦勞も阿母さんのやうでは、餘り度が過ぎると云ふもんで御座いますわ。ほ、ほ、ほ、ほ。』

背戸口に佇んで居る幸三郎は、藤で首を締め付けらるゝやうな氣が爲た。今夜にでもなつたら、能く自分の切ない意中を打明け、因果を言ひ含めて、處女の操を汚さない內、自分の事は諦張と思ひ切らせて了はうかとも考へて見た。

幸三郎は、表へ廻つて、何喰はぬ顏に『今歸りました』と、輕く咳拂ひながら內へ入つたのである。

寫眞 四割引 取次電二五五五 明治町東拓手前 大城寫眞館

大モーター船

倫敦グレン、ライン社は此の程大モーター船を完成して天候險惡なりしにも拘らずゴラスゴー出帆蘇格蘭北部を回航せしめて立派に試運轉を終つた內燃機關を据ゑた荷物船では恐らく世界最大のものでロイド週報に依ると長さ四百卅五呎七吋幅五十七呎七吋深さ卅七呎二吋で總噸數が五千五百噸貨物積載量が一萬三百噸で其以外に燃料石油九百噸を運ぶことが出來る大發電室があつて總ての補助機關は電力で動かすやうになつて居る起重器十九の內四つは七噸他は四噸の起重力がある舵器の操縱から割烹に至るまで總て電氣を使ひ汽罐の小さいのが僅かに暖室用に備へてある許りである船名をグレナモイと稱し東洋航路に使用する筈で歸航には新嘉坡で燃料石油を積み入れるそうだ

□彌生庵小集(龍岩浦)

題 月

開閉橋あいて又戻るなり月朧 良
落れ灯波る夜庭りや月朧 同
艀な揚げ一聲かすかなり月朧 同
檣擘きしる朧月夜港口 [illegible]
月朧木の間漏るゝや汽車遠く 同
月朧庵に殘りの聲あかし 同
夜嵐吹む牛の欠伸や月朧 同
湯歸りの門川に朧や月朧 同
芝居果つ
大方群く果てや潮の朧月 [illegible]
音もなく夜灯や月の [illegible]
月朧荷々と歩るし下駄の人 [illegible]
開閉橋通行
右側や左側らしさ影月朧 [illegible]
温泉にひたる窓の硝子や朧月 [illegible]

◉大日本漢文學會の發展 [illegible]

新刊紹介

▲假面劇コーマス(譯者未詳) [illegible]

▲大英國の表裏(早川鐵冶著) 著者が歐米中の日誌の抜萃にして時局に關する著者のみな觀察を記したり、徹底せる皮相論と鋭快の筆とは洵に談ずるに足り英國の裏面を忌憚なく論じ去る處時に快哉を叫ばしむるもの、（八十錢東京市神田區表神保町九富山房）

▲桑樹栽培法(西上朝一著) 七章數十節に分ち桑樹の種類、栽培、收穫、仕立、肥料、及び病害等に關し簡明に記述し斯業の經營者に必要なる事項を網羅せり、農家の副業として最も有利なるものゝ一たる點に於て此種の著書を歡迎すると同時に一層の普及を希望せずんば非ず（四十錢廣島縣福山市吉津坂西上商會福山支店）

▲受驗必携朝鮮六法要論(京城法學校教官安達大壽謙著) 本書は朝鮮に於て判任官同見習警部巡査看守等の資格試驗に應ぜんとする者の爲めに所謂帝國六法中朝鮮に於ける特殊法規に關する部分のみに就き其の要項を講述せるものにして朝鮮固有の慣習其他に關し深く注意を拂ひたる著者の努力を多とすべし（四十錢京城本町一大阪屋）

▲青年雄辯(三月號) 三宅井上佐野各博士其他の論說を初め各大學々生より見たる此の度の政變、各學校雄辯部の活躍振りと、全國各學校雄辯會の紹介等、辯論界に關する總ての事項を網羅せり（廿錢東京市神田區表神保町九富山房）

▲娯樂世界(三月號) 講談雜誌界の花形として新春以來益々發行を增加せり本號は卷頭三保の松原天人娘、貞婦の仇討、天狗小僧霧太郎、忠臣藏外傳等講談落語小說數十篇を收め頗る面白き讀物なり（二十錢東京市牛込區赤城元町一共樂館）

▲世の中(三月號) 自動電話のつぶやき、養育院の解剖、ザイラを殺せんとした日本人、五十年前の芝居、熊の女俠等（二十錢東京市麹町區有樂町一ノ四實業之世界社）

▲料理の友(三月號) 趣味ある雛節句の御馳走、三月の調理、三月の御菓子、お彼岸の配膳、其他料理物等の季節向料理其他（二十二錢東京府大崎中丸大日本料理研究會）

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

本邦及英米國政府 專賣特許

滋養強壯料 肝油ドロップス

○肝油ドロップス

河合龜太郎氏創製

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲

▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

○肝油ドロップス 肝油含量一顆一グラム

○復方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して、有機鐵、石灰、規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用	
五歲以下	一回二顆乃至四顆
十歲以下	一回三顆乃至六顆
十五歲以下	一回四顆乃至八顆
大人	一回五顆乃至十五顆

用法 普通菓子の如く舐ぶべし、又齒を以て細片に噛り冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

肝油は結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對して缺くべからざる滋養劑として、內科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、周知の事實なれども、其特有の臭味甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを憾とし、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓子ドロップスに擬して、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、之に精製純良の肝油を分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき肝油ドロップスを創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に不便なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ること、胃腸の障害を起す事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

(現品縮寫圖)

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし
一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザラ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是こいふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て瘦せてゐる人
一、手足が冷えて寢られぬといふやうな纎弱い人
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が瘦け、喉や腰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度い人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、脳神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に悩まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器病
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌=全國到る處の藥舖、洋酒食料品店、化粧品店、小間物店▼

本舖
ミツワ石鹸
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元 ○ 登錄商號
東京市日本橋區橘町三丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號○ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

大阪商船仁川出帆

○外航路所關航路、海岸航路を除く、通連絡乘船の時は五分引を以て通船切符を賣出候

○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
○油頭丸 三月十八日
△永田丸 三月十五日後五時出帆
×山陽丸 三月十一日

○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
×天智丸 三月十日正午出帆
×濟州丸 三月 日

○木浦、釜山、嚴原、鄉の浦長崎行
×安東丸 三月九日
×安東丸 三月廿七日後二時出帆

○群山、釜山、橫濱行
△福州丸 三月二十日
△チョイサン 三月五日後一時出帆

○群山、神戸、大阪行
×濟州丸 月 日後五時出帆

○鎭南浦、大連行
×安東丸 三月廿二日後二時出帆

○大連直航
×安東丸 三月六日
×福州丸 三月十五日正午出帆

○神戸、大阪行
潮州丸 月 日正午出帆

○清津、浦潮行(元山出帆) ▲印は城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲安平丸 三月十五日
▲宮島丸 三月廿一日後十二時出

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 三月十三日前六時出帆
基隆丸 三月廿九日後四時出帆

御注意 [illegible]
切符發賣所 大阪商船仁川支店
京城 切符發賣所 內外通運會社支店

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 伏見丸 三月六日午後入港 三月八日正午出帆

阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 南大門(電話二六八、二〇七) 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三一番
鐵道會社及社外船と荷客連絡運送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會願候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話一七〇番)

○全羅丸 月 日
○京畿丸 三月五日
○黃海丸 三月十日
○咸鏡丸 三月 日 (門司より釜山各寄港地迄航路) 釜山發

○穩城丸 三月 日
○昌平丸 三月 日
○鏡城丸 三月五日 (元山より各港經由雄基行) 元山發

○昌平丸 三月 日 元山發

○盤德丸 三月 日 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行) 釜山發

○江陵丸
○襄陽丸 每日 (長生浦方魚津寄港) 釜山發 浦項發

○三浦丸 三月七日 (長承浦、脫水、巨文島、濟州島各寄港) 釜山發

○海州丸
○統營丸
○巨濟丸
○慶寶丸 每日 (各港經由統營行(三日目一回木浦行)) 釜山發

○平壤丸
○忠清丸 三月七日 (城津清津雄基行復航釜山より門司又は長崎行) 元山發

○順天丸 三日目每ニ (各港經由麗水行麗水より釜山行に接續) 木浦發

○慶興丸 三月 日 (各港經由濟州島行西廻) 木浦發

○慶興丸 三月六日 (南多島海列島行月三回) 木浦發

○公州丸 三月 日 (各港經由濟州島行東廻) 木浦發

○江原丸 三月 日 (芝罘、大連、青島行) 仁川發

○麗水丸
○晋州丸 三月 日 仁川發

○錦江丸 三月五日 (海州他各港經由德洞行) 仁川發

○全州丸
○南陽丸 每日午前 (江華島、喬桐島、海州行) 仁川發

●英禁入と我海運 雜せる事情あるは勿論なるべきも其……らず何ぞ後も取締聯擴する限り益々……によりて船腹調節に要する海運動員……に逢すべく之等は皆然海運業者の……

●關税引上と我糖業 せざるべからざるを以て支那關税引……

●昨年東鐵收入 萬一千二百二十三圓を增加せり又同……